

令和8年 豊川渇水報告会

日時：令和8年6月4日（木）10:30～12:00

場所：名古屋合同庁舎1号館 11F 共用大会議室

議事次第

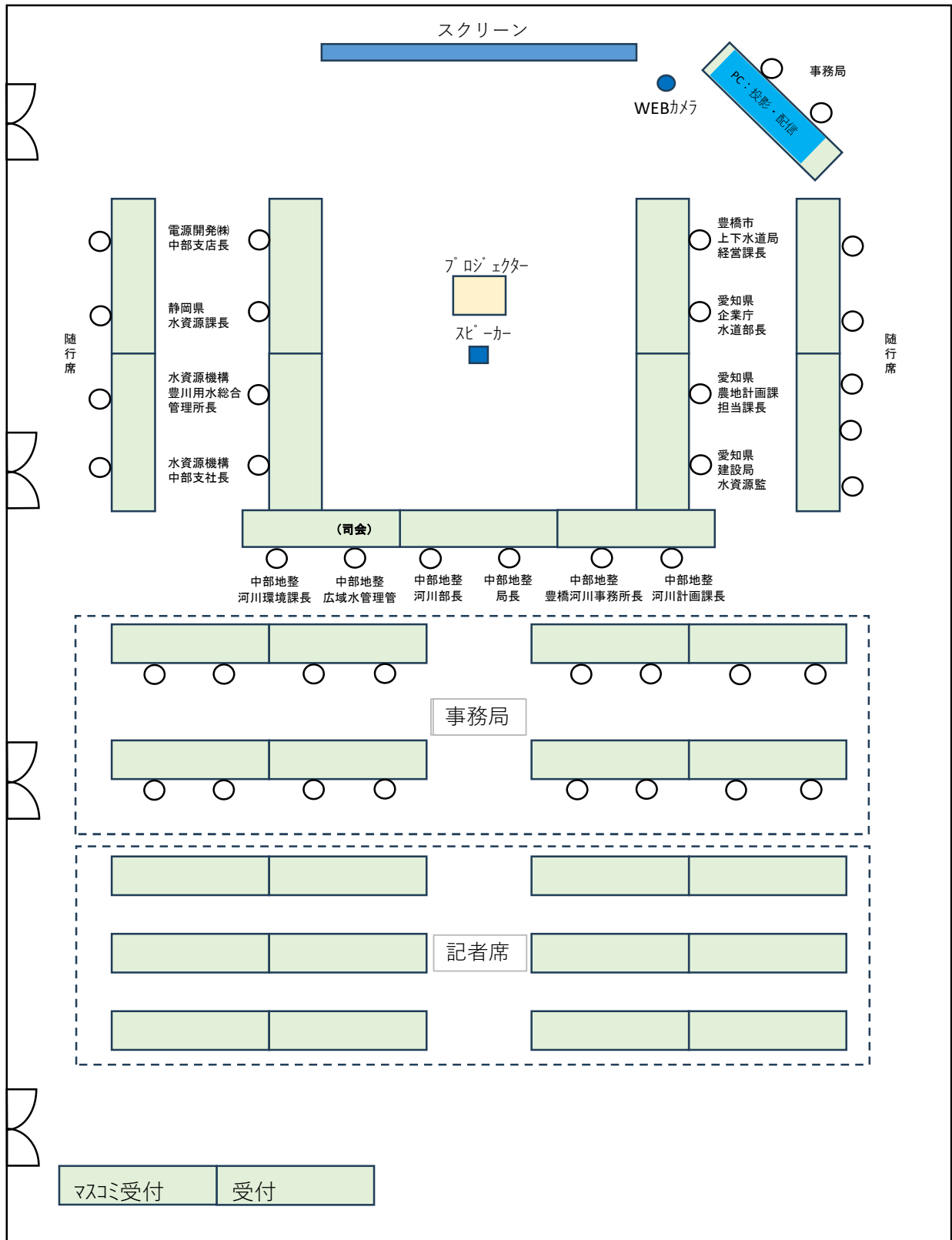
1. 開会挨拶
2. 豊川渇水概要説明
3. 各機関報告
 - 豊川用水節水対策協議会
 - 天竜川水利調整協議会
 - 豊川緊急渇水調整協議会
 - 河川管理者（中部地方整備局）
4. 質疑応答

令和8年 豊川湧水報告会

出席者名簿

	機関	役職	氏名
国土交通省	中部地方整備局	局長	森本 輝
		河川部長	高畑 栄治
		豊橋河川事務所長	稲垣 良和
		河川部 河川計画課 課長	小泉 陽彦
		河川部 河川環境課 課長	栗山 康弘
豊川用水節水対策協議会	(独)水資源機構	中部支社長	平山 周作
		豊川用水総合管理所 所長	山本 政彦
	愛知県	建設局 水資源監	横田 真一
		農林基盤局 農地部 農地計画課 担当課長	河村 明彦
		企業庁 水道部長	坂野 宏
豊川緊急湧水調整協議会	豊橋市	豊橋市上下水道局経営課 課長	森高 朋樹
天竜川水利調整協議会	静岡県	水資源課 課長	望月 良英
	電源開発(株)	中部支店長	足立 健治

配席図



豊川渇水概要

令和8年 6月 4日

中部地方整備局 河川部

令和7・8年度夏季～春季 中部地方整備局管内の渇水概要



■各水系における渇水対策の経過

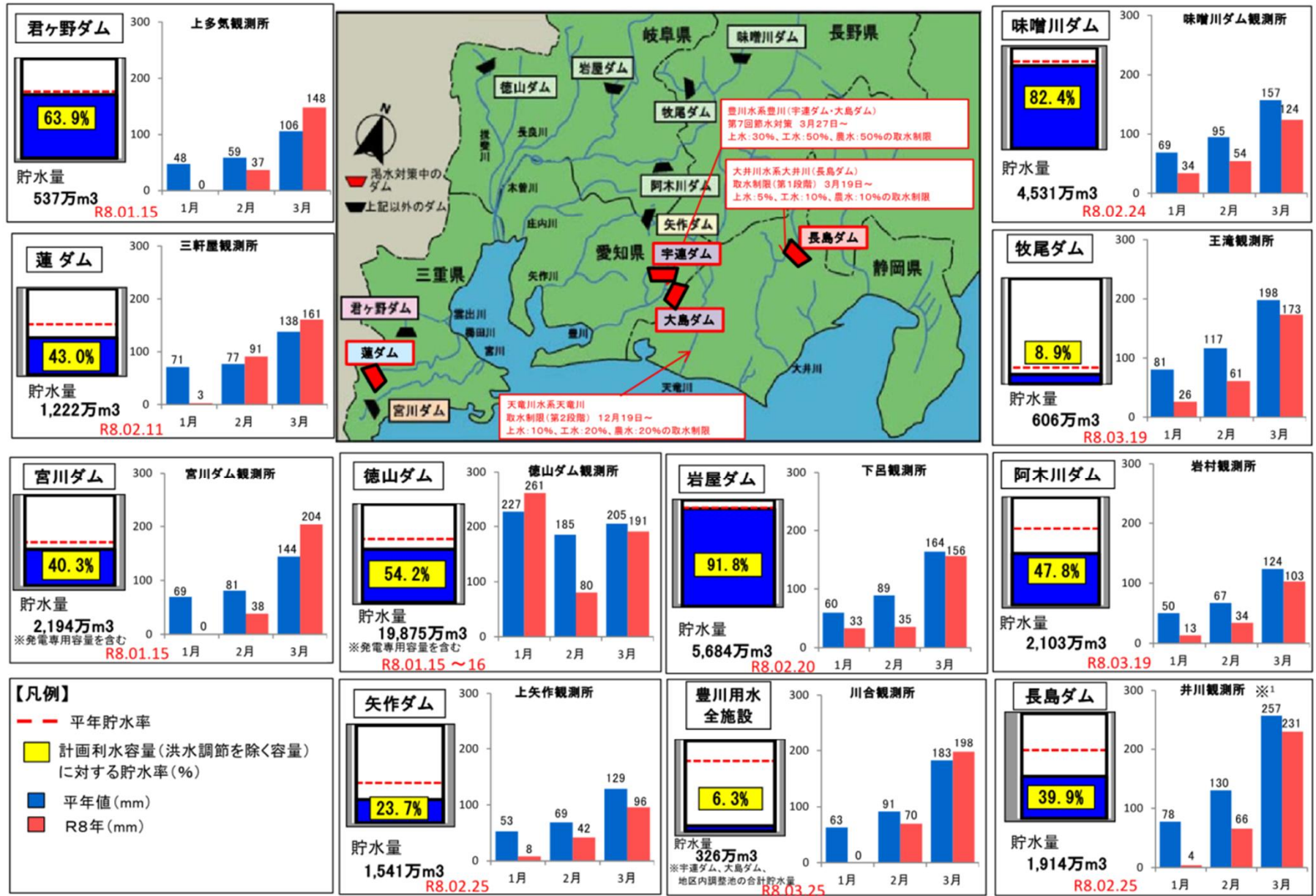
河川名	ダム名	節水	期間	上水	工水	農水
豊川	宇連ダム 大島ダム	第1回	R7.8.29～	5%	5%	5%
		第2回	R7.12.25～	10%	10%	10%
		第3回	R8.1.15～	15%	20%	20%
		第4回	R8.1.28～	17%	30%	30%
		第5回	R8.2.10～	20%	40%	40%
		第6回	R8.3.17～	25%	45%	45%
		第7回	R8.3.27～	30%	50%	50%
		第8回	R8.4.10～	20%	40%	40%
		第9回	R8.4.15～	15%	20%	20%
	解除		R8.4.28			
大井川	長島ダム 井川ダム 畑薙第一ダム	第1回	R8.3.19～	5%	10%	10%
		解除	R8.4.3			
天竜川	佐久間ダム	第1回	R7.12.2～	5%	10%	10%
		第2回	R7.12.19～	10%	20%	20%
		解除	R8.4.10			

■渇水対策本部及び支部の設置状況

水系河川名	事務所名	本部及び支部設置状況	設置日数
-	中部地方整備局	令和 8年 1月15日～令和 8年 4月28日	103
大井川	静岡河川事務所 長島ダム管理所	令和 7年11月18日～令和 8年 4月 3日	137
安倍川	静岡河川事務所	令和 7年12月 2日～令和 8年 4月 3日	123
天竜川	浜松河川国道事務所	令和 7年12月19日～令和 8年 4月10日	113
豊川	豊橋河川事務所	令和 7年 8月29日～令和 8年 4月28日	243
榑田川	三重河川国道事務所 蓮ダム管理所	令和 8年 1月28日～令和 8年 5月 1日	94

令和7・8年度夏季～春季 中部地方整備局管内の渇水概要

【中部地方整備局管内のR8.1.15から3月の水源池最低貯水率及びR8_1月～3月降水量】



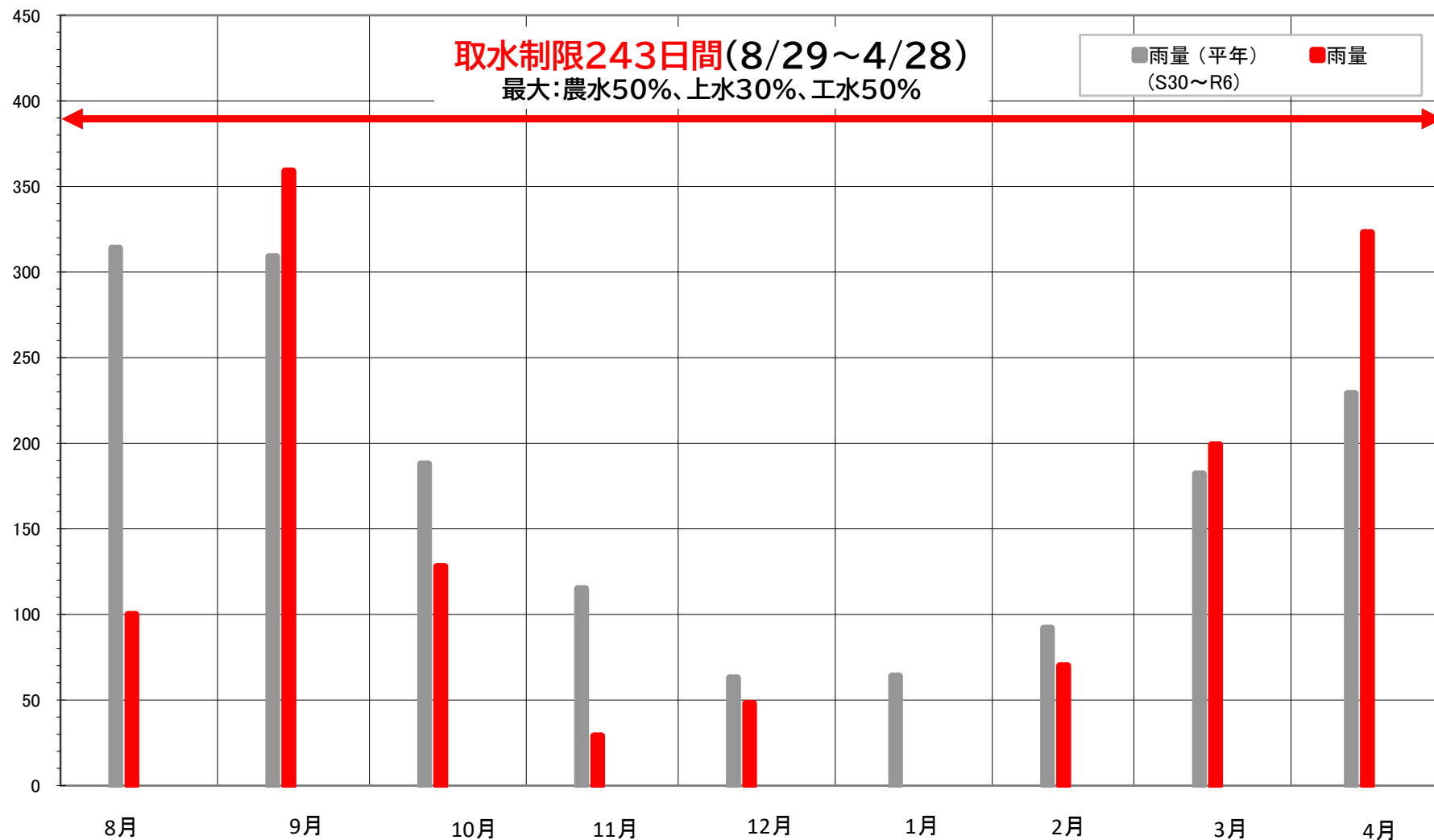
※ 水源池最低貯水量はR8.1.15～3.31までの期間内における最低貯水量
 ※ 貯水量は、豊川用水全施設、牧尾、岩屋、阿木川、味噌川、徳山ダムについては当日0時値。長島、矢作、君ヶ野、蓮、宮川ダムについては当日9時値。
 ※ 降水量は、豊川用水全施設、牧尾、岩屋、阿木川、味噌川、徳山ダムについては当日0時値。長島、矢作、君ヶ野、蓮、宮川ダムについては当日9時値。
 ※¹ 井川観測所のR7.12.15以降の降水量は、気象庁の井川観測所の月累計値(国土交通省所管の井川観測所が閉局のため)
 平年値については、国土交通省所管の井川観測所の値

豊川の気象状況

- 令和7年10月から令和8年3月までの累計降水量は平年比68%。
- 令和7年1月は無降雨で、令和7年11月～令和8年2月の降水量は川合雨量観測所の観測開始以降、2番目に少ない。

月別雨量(mm)

豊川上流(川合地点)降雨状況【速報値】



豊川の渇水概要

凡例

- 主な既設ダム
- 主な頭首工
- 建設中ダム
- 豊川流域
- 豊川流域圏
- 大臣管理区間

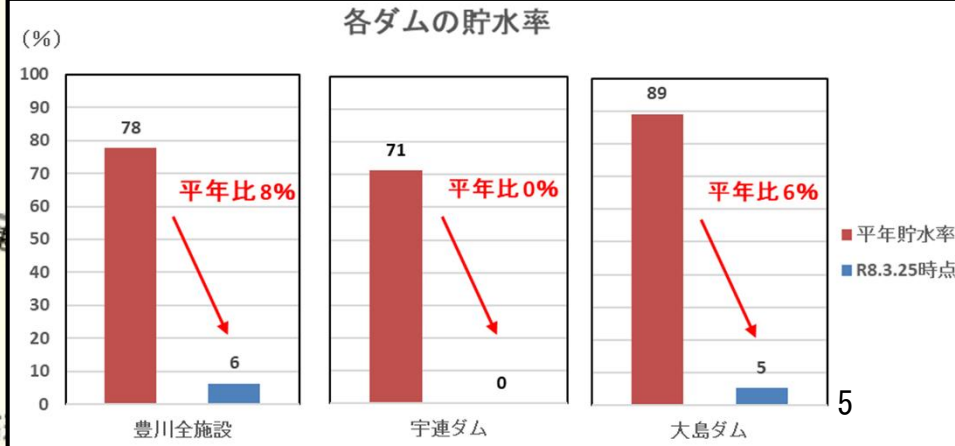
豊川の流域図



宇連ダムの貯水池状況



大島ダムの貯水池状況

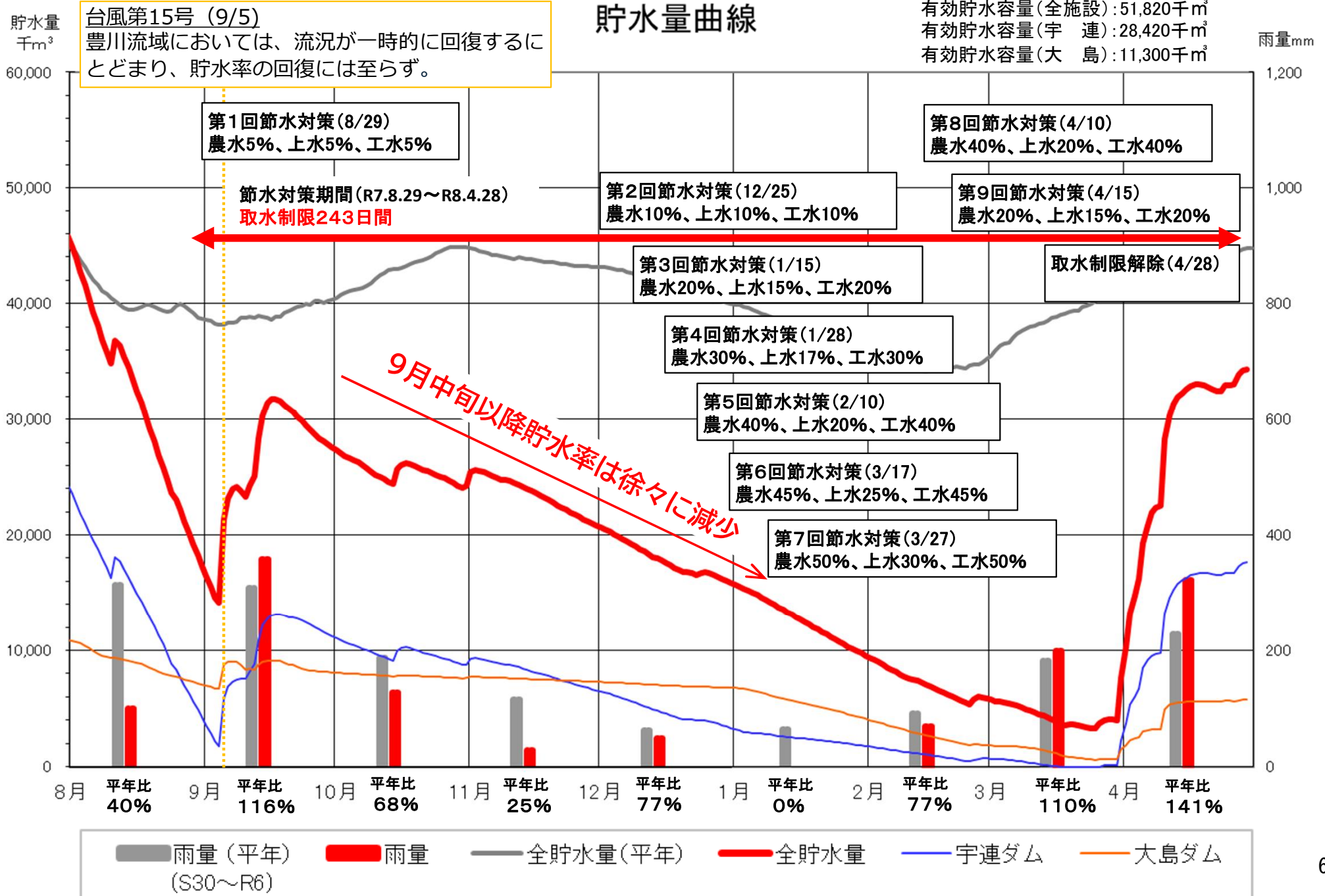


※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります

豊川の渇水概要

貯水量曲線

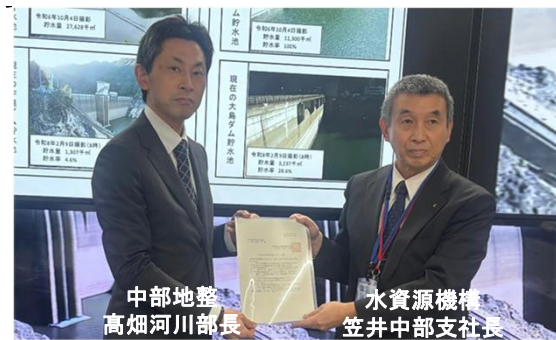
有効貯水容量(全施設): 51,820千m³
 有効貯水容量(宇連): 28,420千m³
 有効貯水容量(大島): 11,300千m³



豊川の渇水概要 (節水対策経過)

日付	内容	節水率 (農水、上水、工水)
R7. 8. 29	第1回節水対策	5%, 5%, 5%
R7. 12. 25	第2回節水対策	10%, 10%, 10%
R8. 1. 15	第3回節水対策	20%, 15%, 20%
R8. 1. 28	第4回節水対策	30%, 17%, 30%
R8. 2. 10	第5回節水対策	40%, 20%, 40%
R8. 2. 19	第1回豊川緊急渇水調整協議会	緊急渇水対策決定
R8. 3. 17	第6回節水対策	45%, 25%, 45%
R8. 3. 27	第7回節水対策	50%, 30%, 50%
R8. 3. 27	第2回豊川緊急渇水調整協議会	緊急渇水対策決定
R8. 4. 10	第8回節水対策	40%、20%、40% ※豊川緊急渇水調整協議会承諾
R8. 4. 15	第9回節水対策	20%、15%、20% ※豊川緊急渇水調整協議会承諾
R8. 4. 28	取水制限解除 ※豊川緊急渇水調整協議会承諾	

豊川用水の渇水対策に関する要請
要望手交状況 2月9日



中部地整 高畑河川部長
水資源機構 笠井中部支社長

第1回 豊川緊急渇水調整協議会
協議会の状況 2月19日



中部地方整備局 森本局長、静岡県 平木副
知事、愛知県 江口副知事による三者会談
3月27日



第2回 豊川緊急渇水調整協議会
協議会の状況 3月27日



豊川緊急渇水調整協議会における決定
事項の継続を要請 4月10日



水資源機構 平山中部支社長
中部地整 高畑河川部長

宇連ダムにおける最低水位以下の
貯留水の活用説明会の状況 3月17日



豊川の渇水概要 報道状況

2026年3月17日 中日新聞 (27面)

渇く「水がめ」いつまで

宇連ダムきょう貯水ゼロ 豊川用水 初の底水くみ上げへ
東三河 農工業すでに影響 収穫期キャベツ、小玉に
湖底の地肌や橋あらわ

2026年3月27日 中日新聞 (1面)

矢作川から緊急導水

愛知県方針 豊川渇水、連絡管使い

2026年3月28日 東愛知新聞 (1面)

きょうから矢作川、天竜川は31日

豊川用水へ緊急導水

渇水調整協の要請に両河川協議会が協力

2026年4月26日 東愛知新聞 (1面)

「佐久間緊急導水」始まる

田植えなど農業需要増見据え 貯水率低迷続く豊川水系に供給

2026年4月28日 中日新聞 (13面)

「安心して米作りできる」

豊川用水 節水解除に農業関係者



豊川緊急渇水対策について(佐久間導水・幸田蒲郡線・寒狭川堰利用等の実施決定)

- 例年になく少雨状況により豊川においては、令和8年3月27日から節水強化として第7回節水対策（水道用水30%、農業用水50%、工業用水50%）を実施
- 天竜川においても令和7年12月19日から第2次取水制限（水道用水10%、農業用水20%、工業用水20%）を実施
- 豊川流域における節水対策が限界に近づいたことから中部地方整備局の仲介により愛知県と静岡県による三者会談を実施し、両県の現状について理解を深め、渇水被害の軽減に向けて、連携・調整していくことを確認
- 豊川緊急渇水調整協議会から天竜川水利調整協議会、矢作川水利調整協議会へ協力要請を行い、両協議会から承諾を得て天竜川(静岡県)から豊川(愛知県)への佐久間導水実施、矢作川(愛知県)から豊川(愛知県)への幸田蒲郡線利用、寒狭川堰の貯留水の活用等を決定(3月27日実施)

三者会談概要

- 日 時: 令和8年3月27日(金)
14:00~14:30
- 会 場: 静岡県庁
- 出席者: 中部地方整備局
森本 輝 整備局長
静岡県
平木 省 副知事
愛知県
江口 幸雄 副知事

天竜川水利調整協議会(会長: 縣 静岡県くらし・環境部長)



三者会談



豊川緊急渇水調整協議会(会長: 高畑河川部長)



豊川緊急渇水対策内容

豊川緊急渇水対策内容

- 宇連ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用
※宇連ダム運用開始以来初めて
- 他水系からの水融通
佐久間導水による緊急導水
※期間外の運用は昭和60年2月以来2度目
- 幸田蒲郡線の緊急使用
※渇水対策では初めて
- 下流利水に影響の範囲での豊川自流の有効活用
- 利水者間の水融通
- 既得水利権者に対する節水への協力要請 等

融通した水量は約300万m³



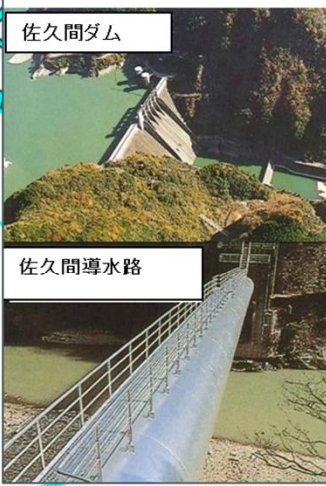
宇連ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用
3月17日から実施



寒狭川堰の貯留水の活用



佐久間導水による緊急導水
4月25日から実施



異常渇水時には下流利水に影響のない範囲として、取水制限流量を2.0m³/sに緩和
2月20日から実施
(水源取水地点:牟呂松原頭首工)



利水者間の水融通【三上橋地点からの取水】
(水源取水地点:三上橋仮設ポンプ)

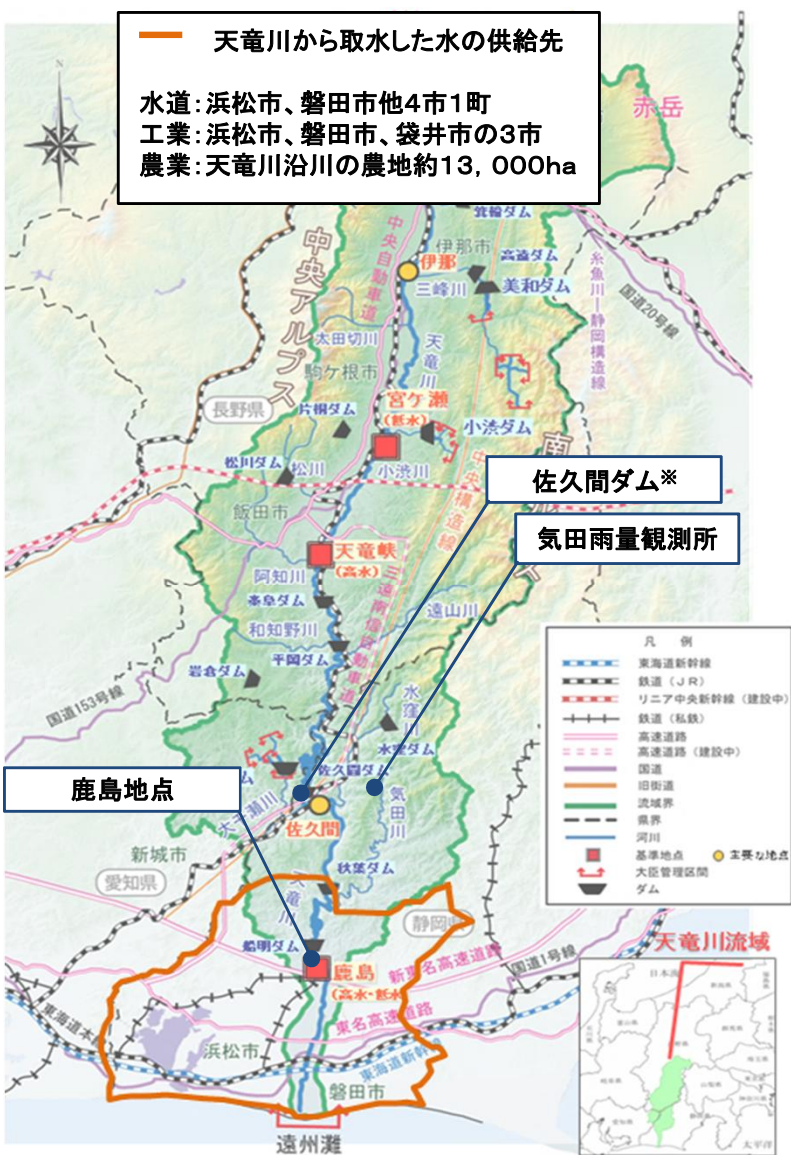


2月20日から実施



天竜川の治水概要

天竜川の流域図



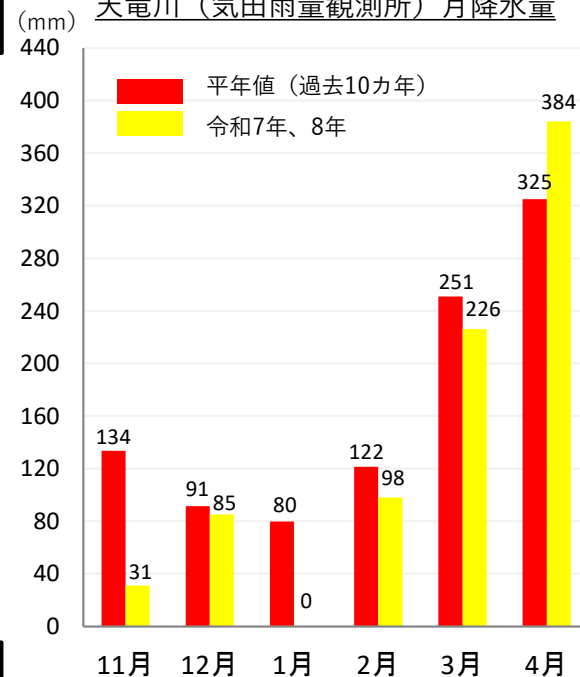
河川の状況(鹿島地点 流量 約49m³/s)



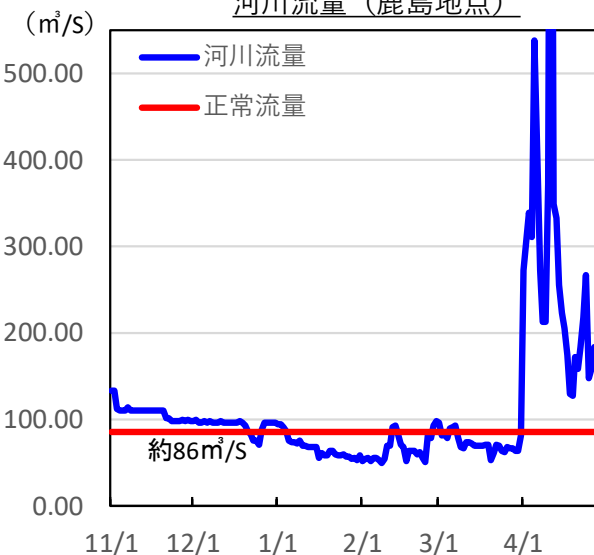
佐久間ダム※の状況(ダム水位 約17m)



天竜川(気田雨量観測所)月降水量



河川流量(鹿島地点)



- 令和7年12月2日より第一段階の取水制限 (水道用水: 5%、工業用水: 10%、農業用水: 10%) 実施
- 令和7年12月19日より第二段階の取水制限 (水道用水: 10%、工業用水: 20%、農業用水: 20%) 実施
- 令和8年4月10日に取水制限解除

※降水量、河川流量は速報値 11

節水対策 広報活動状況



地元FM局生放送での節水の呼びかけ(水資源機構)

中部地方整備局 渇水対策本部を設置しています。
豊川で節水対策を実施しています。
天竜川で取水制限を実施しています。

中部地方整備局管内における主要ダムの貯水状況



中部地方整備局管内状況
主要ダム貯水状況 (木曾川・豊川水系) (その他の水系)

大井川水系	豊川水系
長島ダム	豊川全施設、宇連ダム、大島ダム
矢作川水系	木曾川水系(木曾川)

HPで渇水情報の公表(中部地方整備局)



広報車(新城市)



節水啓発用ティッシュ配布(豊橋市・愛知県)



ポスター(愛知県)



ラグーナ蒲郡 節水ブース(蒲郡市)

豊川用水における節水対応について

令和8年 6月 4日
豊川用水節水対策協議会

豊川用水節水対策協議会 経過

目的： 渇水時における用水の節水と利水者への適正円滑な配水対策を検討し実施すること

	開催日	節水対策開始	節水率	期間
第1回節水対策協議会	令和7年8月28日(木)	①令和7年8月29日(金)	農5% 上5% 工5%	118日
第2回節水対策協議会	令和7年9月25日(木)	—	節水対策継続	—
第3回節水対策協議会	令和7年12月24日(水)	②令和7年12月25日(木)	農10% 上10% 工10%	21日
第4回節水対策協議会	令和8年1月13日(火)	③令和8年1月15日(木)	農20% 上15% 工20%	13日
第5回節水対策協議会	令和8年1月26日(月)	④令和8年1月28日(水)	農30% 上17% 工30%	13日
第6回節水対策協議会	令和8年2月9日(月)	⑤令和8年2月10日(火)	農40% 上20% 工40%	35日
第7回節水対策協議会	令和8年3月16日(月)	⑥令和8年3月17日(火)	農45% 上25% 工45%	10日
第8回節水対策協議会	令和8年3月26日(木)	⑦令和8年3月27日(金)	農50% 上30% 工50%	14日
第9回節水対策協議会	令和8年4月9日(木)	⑧令和8年4月10日(金)	農40% 上20% 工40%	5日
第10回節水対策協議会	令和8年4月14日(火)	⑨令和8年4月15日(水)	農20% 上15% 工20%	14日
第11回節水対策協議会	令和8年4月27日(月)	⑩令和8年4月28日(火)	節水解除	—

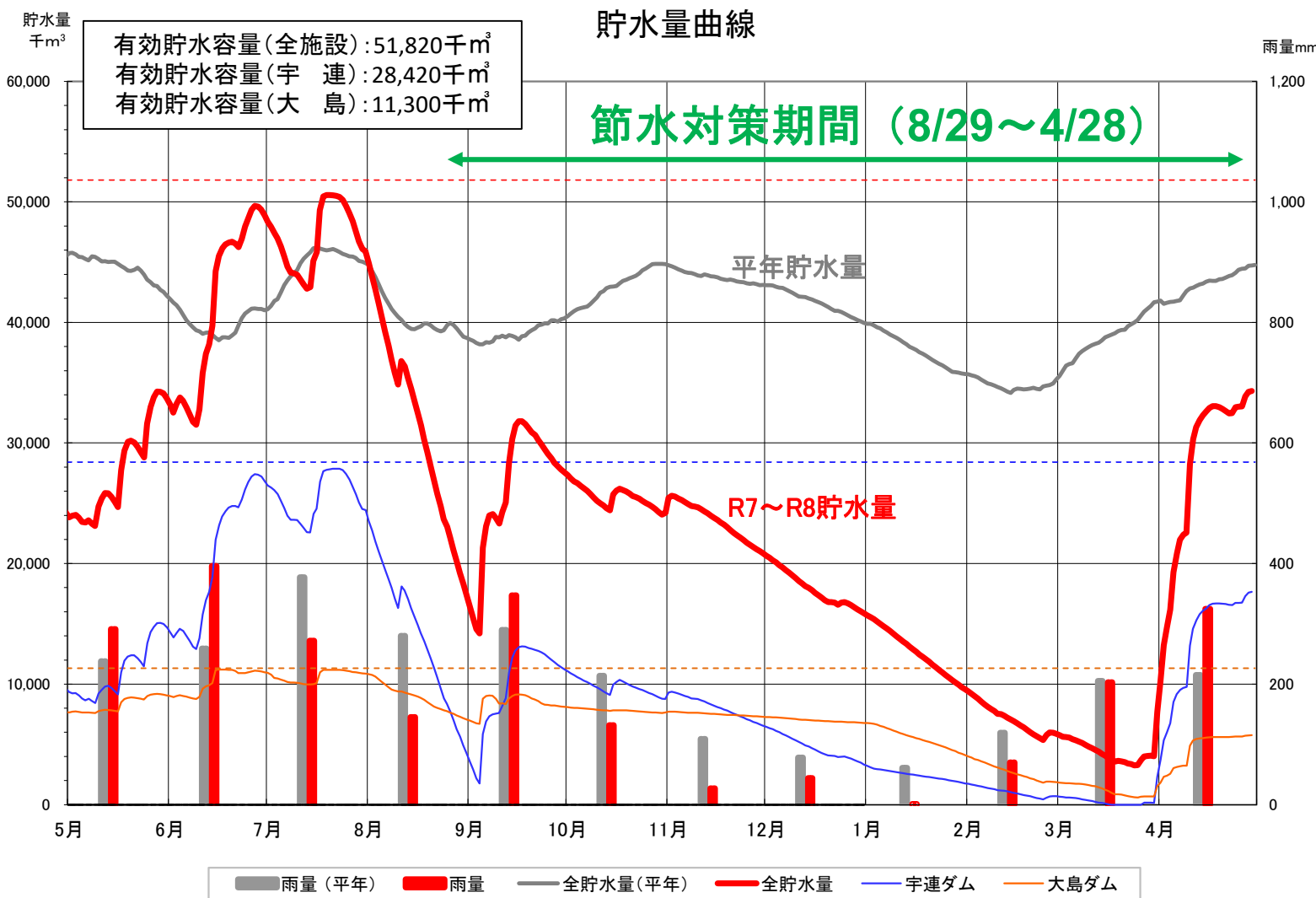


節水対策協議会状況

(構成員)
愛知県農林基盤局
愛知県企業庁
静岡県経済産業部
静岡県企業局
豊川総合用水土地改良区
牟呂用水土地改良区
松原用水土地改良区
湖西用水土地改良区
独立行政法人水資源機構

計 243日間

節水対策による効果



節水対策開始	節水率	期間
①令和7年8月29日(金)	農5% 上5% 工5%	118日
—	農5% 上5% 工5%	—
②令和7年12月25日(木)	農10% 上10% 工10%	21日
③令和8年1月15日(木)	農20% 上15% 工20%	13日
④令和8年1月28日(水)	農30% 上17% 工30%	13日
⑤令和8年2月10日(火)	農40% 上20% 工40%	35日
⑥令和8年3月17日(火)	農45% 上25% 工45%	10日
⑦令和8年3月27日(金)	農50% 上30% 工50%	14日
⑧令和8年4月10日(金)	農40% 上20% 工40%	5日
⑨令和8年4月15日(水)	農20% 上15% 工20%	14日
⑩令和8年4月28日(火)	節水解除	—

計 243日間

宇連ダム地点降水量	月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
	平年値	248mm	280mm	360mm	300mm	286mm	213mm	108mm	72mm	58mm	108mm	199mm	215mm
	実績	291mm	396mm	272mm	145mm	347mm	132mm	27mm	45mm	1mm	70mm	203mm	325mm
平年比	117%	141%	76%	48%	122%	62%	25%	63%	2%	65%	102%	151%	

平年値は平成14年以降の値を使用

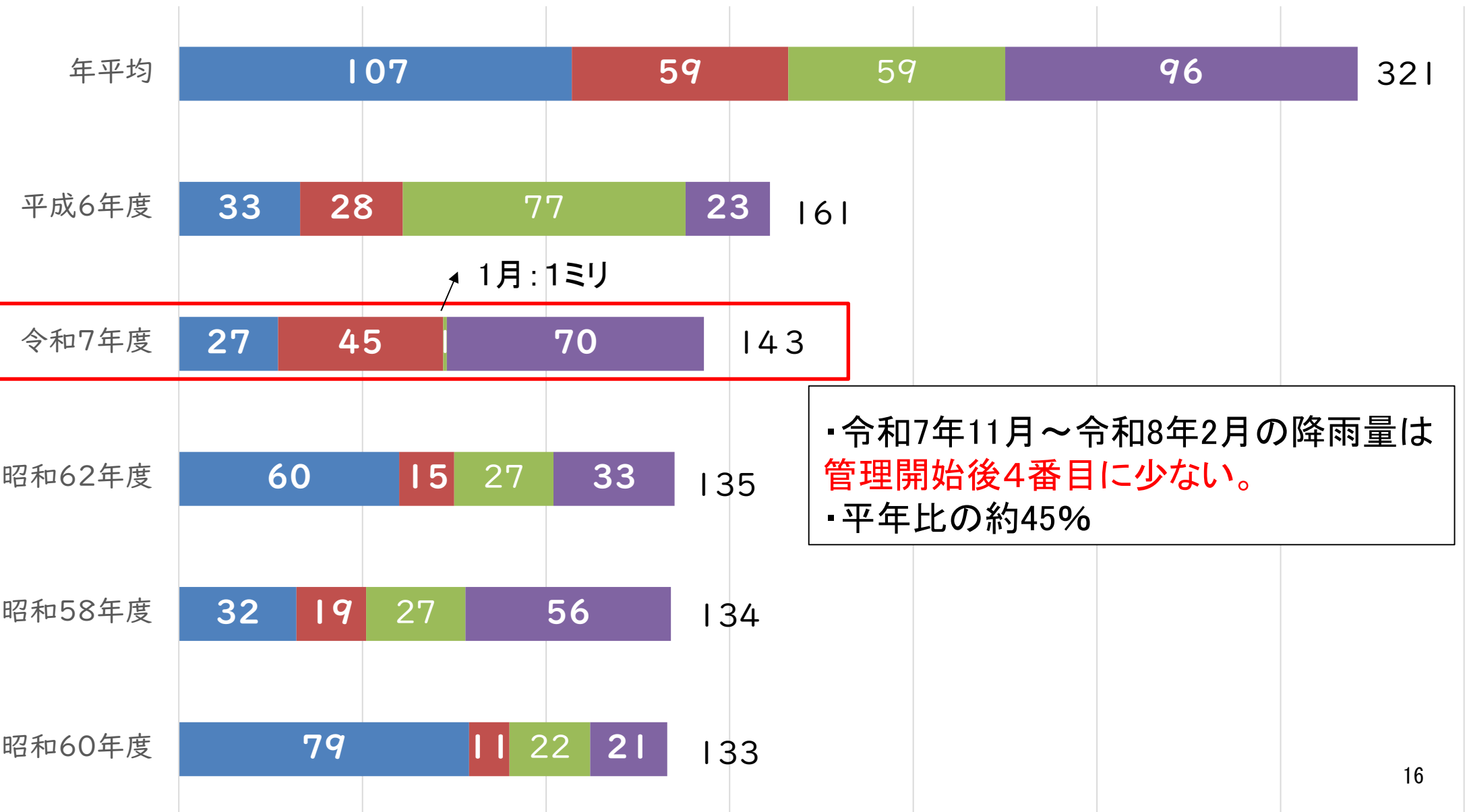


節水対策により、約1,800万 m^3 の水の使用量を減らすことができた(大島ダム約1.6個分)

宇連ダム地点の降雨量(11月から2月まで)

管理開始後(11月から2月まで)の降水量下位5年

■ 11月 ■ 12月 ■ 1月 ■ 2月



・令和7年11月～令和8年2月の降雨量は管理開始後4番目に少ない。
・平年比の約45%

平成初期の渇水との比較

豊川総合用水事業の効果
(平成13年度完了)

渇水の記録

豊川総合用水事業前

豊川総合用水事業後

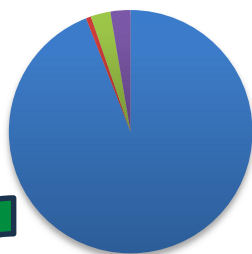
年度		最大節水率 (%)			節水日数
西暦	和暦	農水	上水	工水	
1973	S48	50	10	20	36
1974	S49	—	—	—	—
1975	S50	—	—	—	—
1976	S51	—	—	—	—
1977	S52	30	10	10	231
1978	S53	40	15	15	316
1979	S54	40	15	15	366
1980	S55	10	—	—	365
1981	S56	40	10	10	161
1982	S57	40	15	20	22
1983	S58	40	15	20	88
1984	S59	44	22	27	297
1985	S60	40	15	20	45
1986	S61	44	10	15	214
1987	S62	48	24	31	221
1988	S63	30	10	15	69
1989	H1	20	5	10	14
1990	H2	20	5	10	42
1991	H3	30	10	15	27
1992	H4	30	10	15	96
1993	H5	20	10	15	65
1994	H6	60	35	60	181
1995	H7	50	30	50	258
1996	H8	45	25	45	206
1997	H9	10	5	10	193
1998	H10	10	5	10	27
1999	H11	5	5	5	73
2000	H12	15	10	15	87
2001	H13	43	27	43	140

年度		最大節水率 (%)			節水日数
西暦	和暦	農水	上水	工水	
2002	H14	40	25	40	54
2003	H15	—	—	—	—
2004	H16	—	—	—	—
2005	H17	30	20	30	109
2006	H18	10	10	10	37
2007	H19	—	—	—	—
2008	H20	—	—	—	—
2009	H21	—	—	—	—
2010	H22	—	—	—	—
2011	H23	—	—	—	—
2012	H24	5	5	5	10
2013	H25	40	28	40	54
2014	H26	5	5	5	10
2015	H27	—	—	—	—
2016	H28	—	—	—	7
2017	H29	—	—	—	—
2018	H30	—	—	—	—
2019	R1	15	15	15	67
2020	R2	—	—	—	—
2021	R3	—	—	—	—
2022	R4	—	—	—	—
2023	R5	—	—	—	—
2024	R6	—	—	—	—
2025	R7	50	30	50	258
2026	R8	50	30	50	28

節水日数は自主節水期間含む

管理開始以降、毎年のように大小の節水対策を実施していたが、豊川総合用水事業完了後は、水源を増強したことにより渇水は減っている。

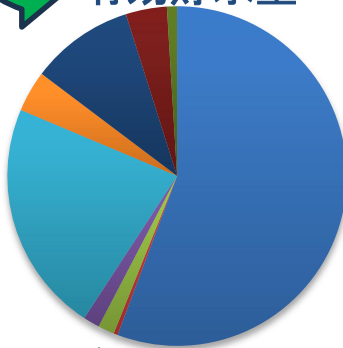
有効貯水量



■ 宇連ダム ■ 三ツ口池
■ 初立池 ■ 駒場池

1.67倍

有効貯水量



■ 宇連ダム ■ 三ツ口池
■ 初立池 ■ 駒場池
■ 大島ダム ■ 大原調整池
■ 万場調整池 ■ 芦ヶ池調整池
■ 蒲郡調整池

豊川用水事業 S42年完成

- ・ 宇連ダム (2,842万m³)
- ・ 三ツ口池 (20万m³)
- ・ 初立池 (160万m³)
- ・ 駒場池 (80万m³)

有効貯水量 3,102万m³



農業の営農形態の近代化、人口増加と生活水準の高度化が進んだことから、水源増強

豊川総合用水事業 H13完成

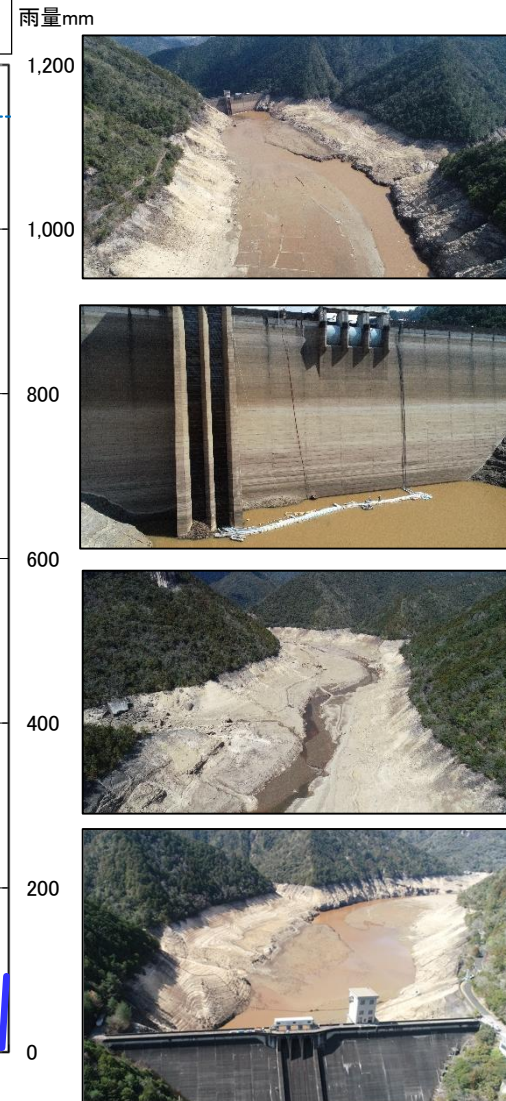
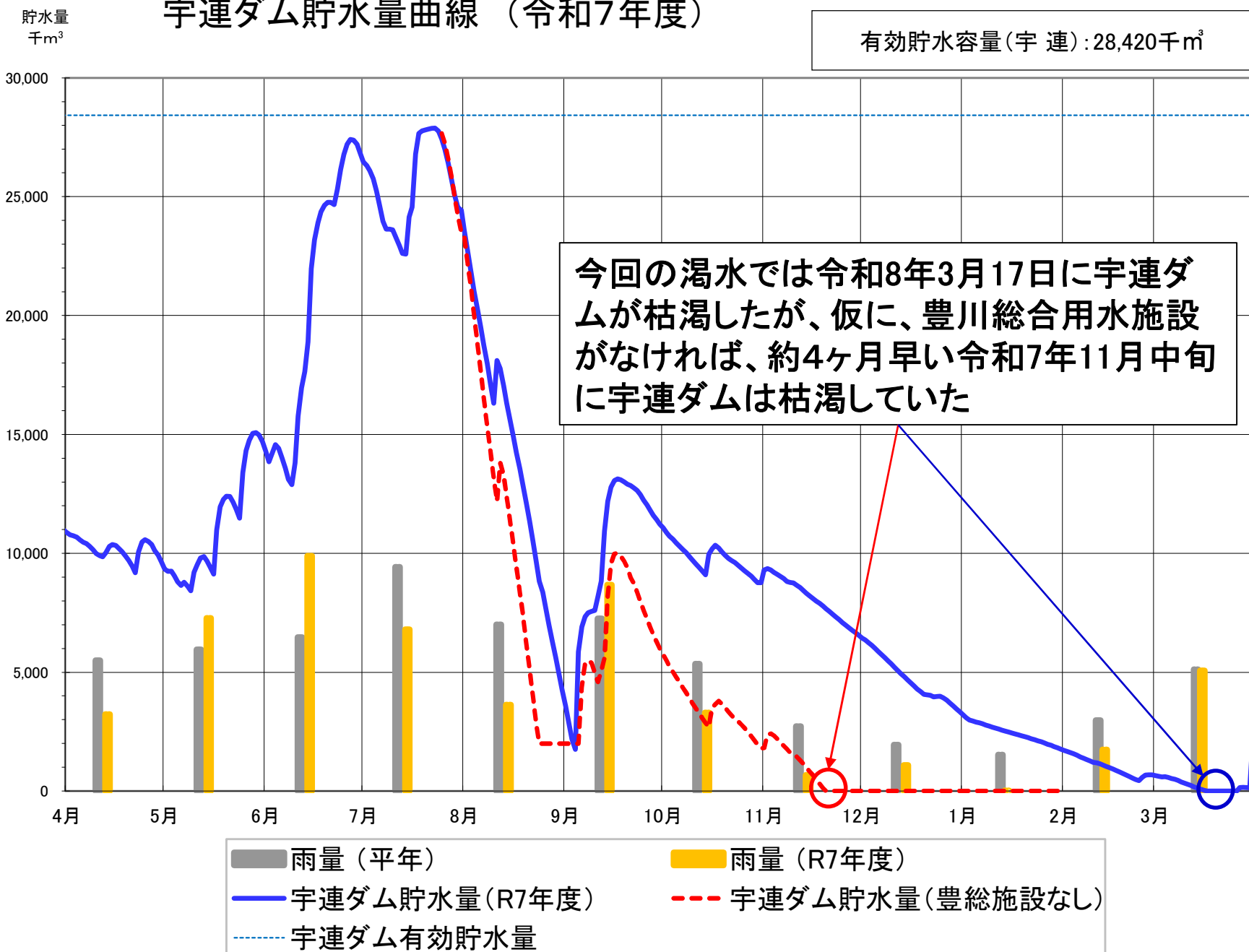
- ・ 宇連ダム (2,842万m³)
- ・ 三ツ口池 (20万m³)
- ・ 初立池 (160万m³)
- ・ 駒場池 (80万m³)
- ・ 大島ダム (1,130万m³)
- ・ 大原調整池 (200万m³)
- ・ 万場調整池 (500万m³)
- ・ 芦ヶ池調整池 (200万m³)
- ・ 蒲郡調整池 (50万m³)

有効貯水量 5,182万m³

豊川総合用水事業の効果

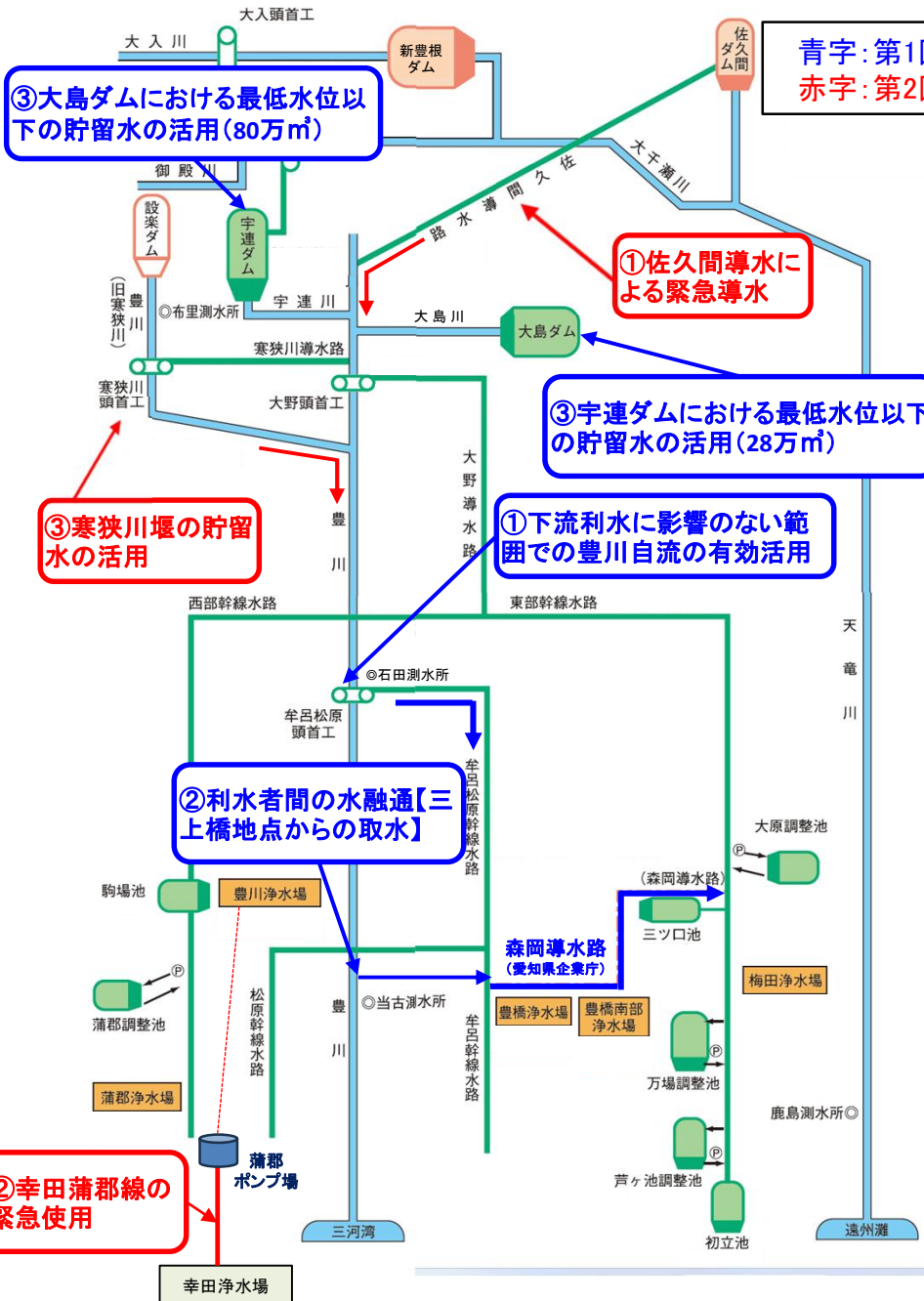
宇連ダム貯水量曲線（令和7年度）

有効貯水容量(宇連): 28,420千m³



R8.3.17宇連ダム枯渇

豊川における緊急渇水対策メニュー



青字: 第1回メニュー
赤字: 第2回メニュー

第1回メニュー

①下流利水に影響のない範囲での豊川自流の有効活用	牟呂松原頭首工下流の河川維持流量 $2.0\text{m}^3/\text{s}$ を超える流水を取水口から取水し、牟呂松原幹線水路、森岡導水路を利用して東部幹線水路へ導水
②利水者間の水融通【三上橋地点からの取水】	三上橋地点で豊川下流必要量の残水を牟呂松原幹線水路へポンプアップにより送水し、森岡導水路を利用して東部幹線水路へ導水
③宇連ダム、大島ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用	最低水位以下にポンプを設置し、最低水位以下の貯留水を取水ゲートまで揚水
④既得水利権者に対して節水への協力要請	既得水利権者に対して節水への協力要請

第2回メニュー

①佐久間導水による緊急導水	期間外ではあるが、天竜川水系の佐久間ダムから取水し、佐久間導水路を利用して宇連川へ導水
②幸田蒲郡線の緊急使用	矢作川水系である幸田浄水場から幸田蒲郡線を経由して蒲郡ポンプ場(豊川水系)に水を融通
③寒狭川堰の貯留水の活用	豊川の流水の正常な機能維持のため貯留している寒狭川堰の貯留水を補給し、他の水利用に活用
④既得水利権者に対する節水への協力要請	既得水利権者に対して節水への協力要請

緊急渇水対策の効果

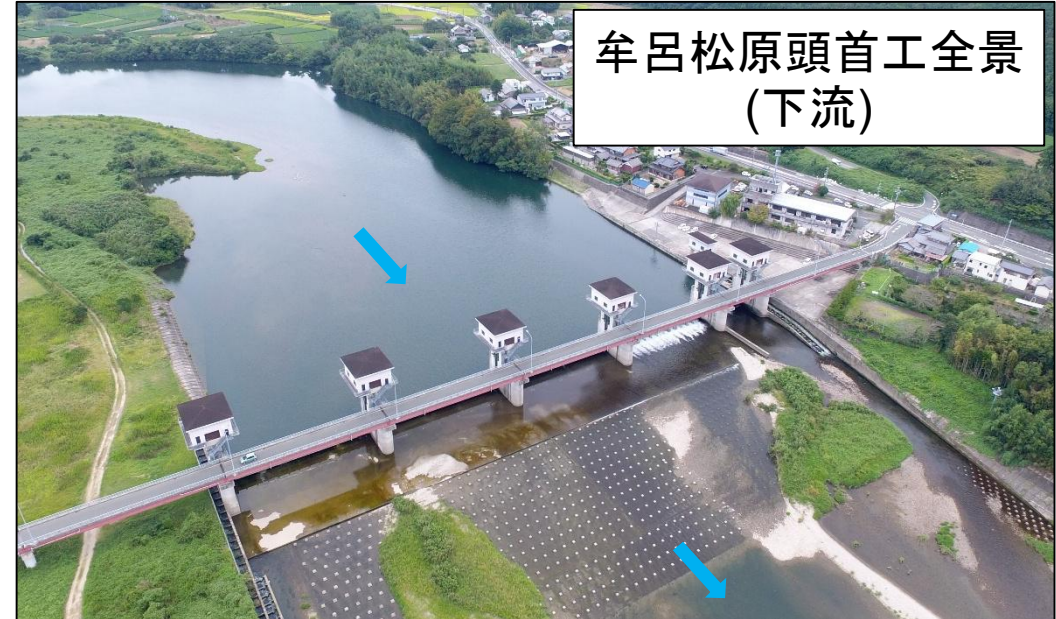
第1回メニュー 緊急渇水対策メニュー	効果
①下流利水に影響のない範囲での豊川自流の有効活用	取水量:約175万 m^3 期間:R8.2.20~R8.4.27(うち稼働日61日間)
②利水者間の水融通【三上橋地点からの取水】	取水量:約32万 m^3 期間:R8.2.20~R8.3.25(うち稼働日20日間)
③宇連ダム、大島ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用	取水量:約29万 m^3 ※宇連ダムのみ 期間:R8.3.17~R8.3.25(9日間)
④既得水利権者に対して節水への協力要請	—

第2回メニュー 緊急渇水対策メニュー	効果
①佐久間導水による緊急導水	導水量約29万 m^3 期間:R8.4.25~R8.4.27(3日間)
②幸田蒲郡線の緊急使用	使用量:約13万 m^3 期間:R8.3.28~R8.4.28(32日間)
③寒狭川堰の貯留水の活用	使用量:0 m^3 ※降雨時に寒狭川取水口より取水
④既得水利権者に対する節水への協力要請	—

豊川における緊急渇水対策(1/4)

下流利水に影響のない範囲での豊川自流の有効活用

取水量：約175万 m^3 期間：令和8年2月20日～令和8年4月27日（うち稼働日61日間）



豊川における緊急濁水対策(2/4)

利水者間の水融通【三上橋地点からの取水】

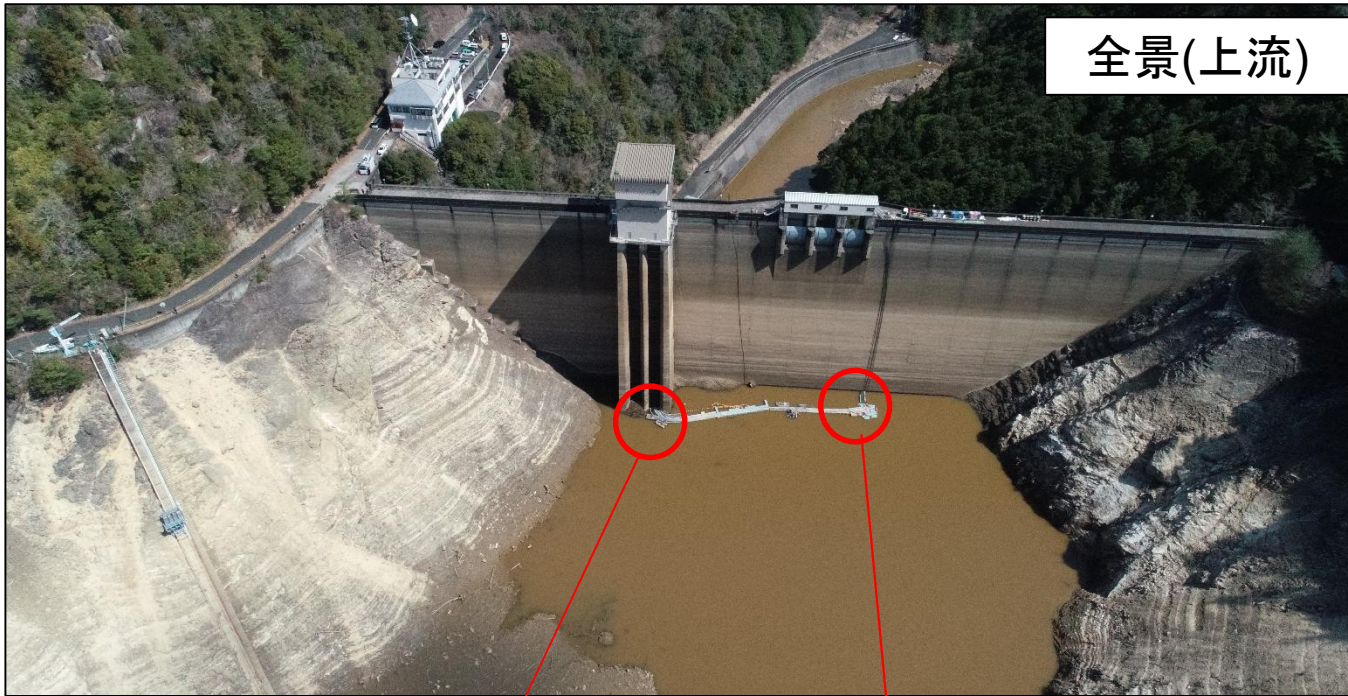
取水量：約32万 m^3 期間：令和8年2月20日～令和8年3月25日（うち稼働日20日間）



豊川における緊急渇水対策(3/4)

宇連ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用

取水量：約29万 m^3 期間：令和8年3月17日より令和8年3月25日（9日間）



豊川における緊急濁水対策(4/4)

佐久間導水による緊急導水

導水量：約29万 m^3 期間：令和8年4月25日～令和8年4月27日（3日間：最大2.5 m^3/s ）

② 佐久間導水管へ水が流れていく様子

① 導水開始操作状況

宇連ダム操作室からの遠方操作

④ 佐久間導水出口から水が流れていく様子

③ 相川水路橋に水が流れていく様子

渇水期間における広報



やしの実FM出演



駅前でのPR活動



XやHPによるPR



駅構内でのPR



豊川市大型商業施設でのPR



横断幕・車両によるPR

マスコミ向け現地説明会

宇連ダム現地説明会
令和8年2月6日



豊川緊急取水現地説明会
令和8年2月20日



宇連ダム緊急取水現地説明会
令和8年3月17日



令和8年豊川渇水における 愛知県の取組について

令和8年6月4日（木）
愛知県

1 節水対策等の取組

① 愛知県渇水対策本部の設置

② 農業用水の節水対策

③ 水道用水の節水対策

④ 工業用水の節水対策

2 幸田蒲郡線の緊急使用

1 節水対策等の取組

① 愛知県渇水対策本部の設置

② 農業用水の節水対策

③ 水道用水の節水対策

④ 工業用水の節水対策

2 幸田蒲郡線の緊急使用

① 愛知県渇水対策本部の設置

- 豊川用水施設の貯水量減少に歯止めがかからず、3月17日には宇連ダムが枯渇する事態となった。
- 大島ダム・地区内調整池が枯渇する事態となった場合、県民生活や地域の経済活動への甚大な影響が危惧された。
- この状況を踏まえ、愛知県渇水対策本部を21年ぶりに設置し、利水の緊急確保の実施及び関係機関との連絡調整等を実施。

設置状況

期 間 令和8年3月24日～4月28日（36日間）

目 的 異常渇水による水事情の悪化に対処するため、県関係部局が連携し、利水の緊急確保の実施と連絡調整を図る

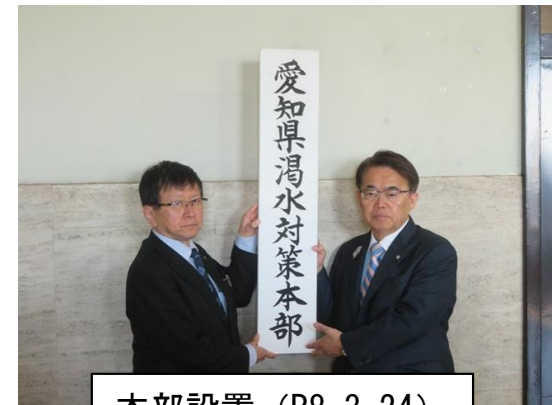
本部長 愛知県知事

主な取組

- 利水の緊急確保に向けた関係者調整
（佐久間導水による緊急導水、幸田蒲郡線の緊急使用、田植え時期の延期要請等）
- 節水対策に係る啓発活動
- 定例知事記者会見をはじめとする情報発信



本部員会議（R8. 3. 24）



本部設置（R8. 3. 24）



知事による情報発信

1 節水対策等の取組

① 愛知県渇水対策本部の設置

② 農業用水の節水対策

③ 水道用水の節水対策

④ 工業用水の節水対策

2 幸田蒲郡線の緊急使用

② 農業用水の節水対策

愛知県による節水への取組

- 営農用水対策連絡会議の実施
- 東三河営農用水対策班会議の実施
(東三河地域の県、土地改良区、JA等で水源情報等を共有)
- 緊急水源である井戸ポンプの運転に係る経費等への補助
- 「代かき・田植え時期の延期及び分散の検討」を依頼
(田植え等の延期検討と併せて、共済・保険制度の紹介・周知を依頼)



東三河営農用水対策班会議の様子



東三河総合庁舎での節水呼びかけ

② 農業用水の節水対策

土地改良区による節水への取組

- 組合員への節水状況の周知、節水の協力依頼
(役員等による周知や、SNSとはがきでの通知)
- 少量配水に対応したバルブのきめ細やかな開閉操作及び見回り
- 緊急水源である井戸ポンプの使用



少量配水に対応したバルブの
きめ細やかな開閉操作



緊急水源である井戸ポンプによる
地下水利用

② 農業用水の節水対策

JA・農業者による節水への取組

- 組合員への節水状況、節水対策等の周知【JA】
- 組合員からの漏水関係の相談対応【JA】
- 畔塗や畦畔の補修による水田からの漏水防止の徹底【農業者】
(少ない水を大切に使用するための取組)
- 雨水などの有効活用【農業者】
(豊川用水の水源以外の水を活用する取組)



畦塗による水田からの漏水防止



水田に降った雨水を貯めて有効活用

1 節水対策等の取組

① 愛知県渇水対策本部の設置

② 農業用水の節水対策

③ 水道用水の節水対策

④ 工業用水の節水対策

2 幸田蒲郡線の緊急使用

③ 水道用水の節水対策

(1) 愛知県による節水への取組

- PR・広報活動
節水懸垂幕・立看板設置、ポスター掲示、Web掲載、SNS
イベント時や街頭、商業施設にてポケットティッシュ配布（市と連携）
- 受水団体向け水源状況説明会の開催
- 受水団体に対し給水の制限を通知
- 応急給水活動準備（給水車待機）



街頭PR活動（豊橋駅）

(2) 受水団体による節水への取組

- PR・広報活動
（県との活動に加え）節水懸垂幕・立看板設置、ポスター掲示、Web掲載、SNS、チラシ配布、広報車巡回、学校へのPR、防災メール、デジタルサイネージ
- 自己水源取水量の調整、減圧給水
- 噴水停止、一部公共トイレ使用休止
- 市営入浴施設等の休館
- ガソリンスタンド洗車自粛
- 「水道、夜間ノータッチ運動」



給水車待機（蒲郡市内にて）

1 節水対策等の取組

① 愛知県渇水対策本部の設置

② 農業用水の節水対策

③ 水道用水の節水対策

④ 工業用水の節水対策

2 幸田蒲郡線の緊急使用

④ 工業用水の節水対策

(1) 愛知県による節水への取組

- 工水受水事業所向け水源状況説明会の開催
- 節水協力依頼文の発出

(2) 工水受水事業所による節水への取組

- P R ・ 広報活動
立看板設置、ポスター掲示、所内メール、
会議での啓発、所内放送等
- 受水バルブ調整、循環水利用強化、
地下水利用等
- 生産調整、操業時間短縮

※経済活動に影響が出ますので、具体的な会社名を
特定できるような情報は公開していません。



P Rポスター掲示
(工水受水事業所 食堂入口)



地下水汲み上げ状況
(工水受水事業所 地下水配管、圧力計)

目次

1 節水対策等の取組

① 愛知県渇水対策本部の設置

② 農業用水の節水対策

③ 水道用水の節水対策

④ 工業用水の節水対策

2 幸田蒲郡線の緊急使用

幸田蒲郡線の緊急使用

(1) 概要

- 幸田（西三河）側から蒲郡（東三河）側へ最大5,000m³/日送水
- 明治用水頭首工漏水事故（2022年）以来、約4年ぶりの使用
- 今回初めて異常渇水時に使用

(2) 使用に向けての準備・作業

- 矢作川水利調整協議会へ協力要請
（豊川緊急渇水調整協議会）
- 河川管理者へ特例水利使用承認及び協議
申請（河川法第53条の2第1項、95条）
- 施設点検
- 地域界バルブ操作
- 水質確認

(3) 使用期間

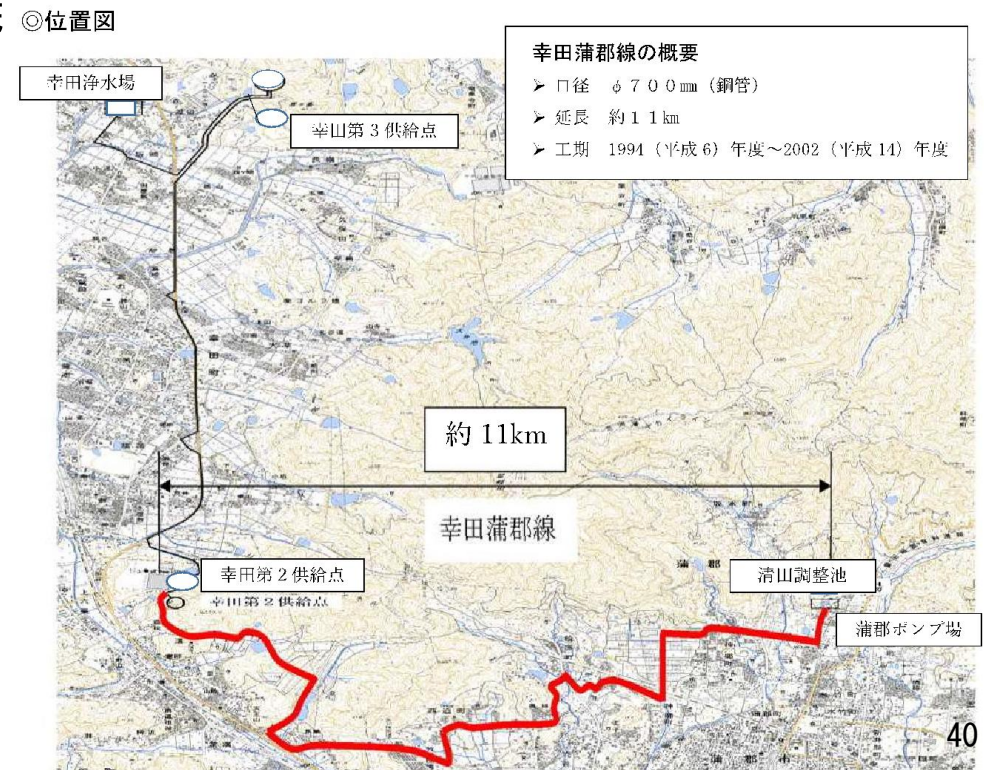
2026年3月28日から2026年4月27日
計31日間

(4) 使用量

128,442m³

幸田蒲郡線は、地震による浄水場の災害時等において、最低限の生活用水を確保するため、西三河地域の幸田浄水場と東三河地域の蒲郡ポンプ場を連絡し、応急的に水道水を融通することを目的としています。

幸田蒲郡線位置図



令和7年12月～令和8年4月
渇水対応に関する報告

令和8年6月4日

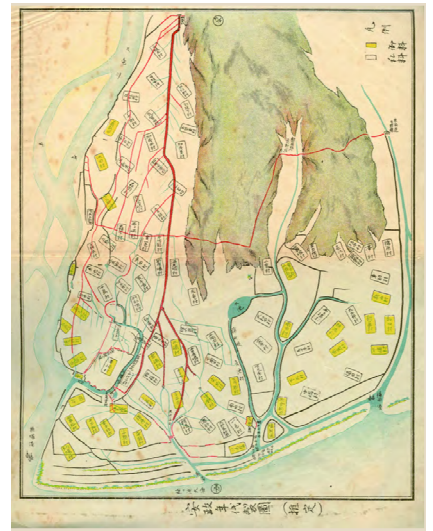
天竜川水利調整協議会

1 天竜川下流の利水の歴史

天竜川の流水を利用して最初に開設された農業用水路は、今から420年以上前の天正16～18年（1588～90年）の寺谷用水取り入れ口築造工事（寺谷村）に始まっている。



明治期の風景



寺谷用水(世界かんがい施設遺産)

天竜川下流利水一覧

	上水		工水		農水等	
	名称	種別	名称	種別	名称	種別
三方原用水	浜松市水道	新規	西遠工水	新規	三方原農水	新規
天竜川下流用水	遠州広域水道	新規	中遠工水	新規	天竜川下流農水	既得+新規
					馬込川掃流用水	既得
浜松市水道（常光）		既得	—	—	—	—

2 佐久間導水の歴史

昭和29年に天竜東三河特定地域総合開発計画が閣議決定され、佐久間ダムをはじめとする電力資源の開発、農業用水、上水、工業用水の新規開発が計画され、その一つとして豊川用水の事業計画が拡大され、佐久間分水計画が進められた。

昭和31年佐久間ダムが完成し、佐久間ダムから豊川用水が分水されることとなり、この水利使用許可取得に際し、下流に取水口を有する天竜川下流域の既得利水者に同意要請をした。

既得利水者の取水口よりも上流で取水する新規利水者の水利使用に際しては、既得利水者の水利権を侵害しないことが大前提となっていることから、覚書が交わされた。

電源開発株式会社佐久間ダムより取水する農業用水等の分水について（S32）

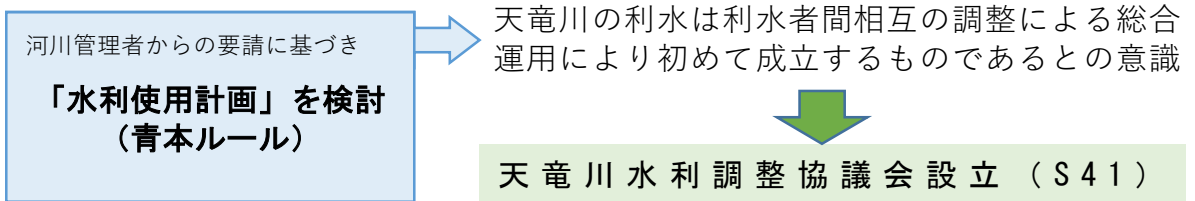
佐久間ダムより取水する農業用水、工業用水、上水道用水への分水を下記のとおり定める。

記
 最大分水量 毎秒14 t
 分水総量 年5,000万 t 以内
 分水期間 5月6日～9月20日

農林省農地局長
 通商産業省公益事業局長
 静岡県知事
 愛知県知事
 電源開発株式会社総裁
 経済企画庁開発部長

豊川農業用水等への分水量は天竜川の甚しい渇水等の場合、既存の水利権、河川維持のための必要流量、電力需給の逼迫の程度等に対する影響を考えてその分水量を制限することができるものとする。

3 天竜川水利調整協議会



		団 体 名	
委員	電源開発株式会社	浜松土地改良区	
	独立行政法人水資源機構中部支社	中部経済産業局資源エネルギー環境部	
	農林水産省関東農政局	愛知県 (農林基盤局)	
	浜松市上下水道部	静岡県 (経済産業部)	
	寺谷用水土地改良区	静岡県企業局	
	磐田用水東部土地改良区		
顧問	国土交通省中部地方整備局	静岡県 (交通基盤部)	
	愛知県 (建設局)		

4 取水制限の内容 (R7.12.2~R8.4.10)

(1) 取水制限の状況

取水制限	期 間	取水制限率 (上水道：工業用水：農業用水)	日 数
第1段階	R7. 12. 2～ R7. 12. 18	5%：10%：10%	17日間
第2段階	R7. 12. 19～ R8. 4. 10	10%：20%：20%	113日間
計			130日間

(2) 県内における取水制限及び節水の呼びかけ対象市町の範囲

上水道	4市1町	浜松市、磐田市、袋井市、湖西市、森町
工業用水	3市	浜松市、磐田市、袋井市
農業用水	3市1町	浜松市、磐田市、袋井市、森町

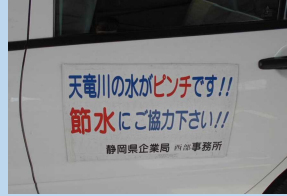
5 節水対策の実施状況

上水道（節水対策） 10%取水制限

- 広報活動（報道投込、懸垂幕、公用車ステッカー等）
- 井戸などの自己水源からの取水を最大限活用
- 公園や駅の噴水を停止するなど公共施設での節水 等



横断幕による呼びかけ



公用車による呼びかけ



公共施設の節水

上水道（影響・被害等）

- 12月下旬から1月上旬にかけて原水のかび臭物質の濃度が上昇したため、粉末活性炭による処理を実施
- 水量管理の負担増
- ポンプを増やして他水源からの取水量を増量 等



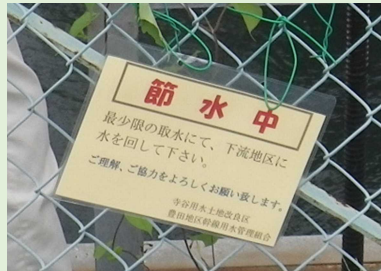
活性炭注入施設

工業用水（節水対策） 20%取水制限

- ピーク使用時の配水量に対し給水量が不足するため、配水池の貯水にて対応
 - 比較的需要が少ない土日に配水池等に貯留し、平日の不足分を賄う
 - 年末の洗管作業の中止
 - 井戸などの自己水源を活用
 - 雑用水の節水（場内散水等の抑制）
 - 回収水の再利用 等
- } ユーザー対応

農業用水（節水対策） 20%取水制限

- 節水の呼びかけ（HP、水利組合単位で文書による周知）
- 電話、訪問による水利組合長及び大規模農家への節水の協力依頼
- ファームポンド等へのきめ細かな配水管理の徹底と巡回指導及び監視の強化
- 分水の制水弁を絞る（水利用効率低下）



渇水対応について

令和8年 6月 4日

豊川緊急渇水調整協議会

緊急渇水対策メニュー

1. 正常流量は5.0m³/sだが、異常渇水時には下流利水に影響のない範囲として、取水制限流量を2.0m³/sに緩和
2. 利水者間の水融通【三上橋地点からの取水】
3. 宇連ダム、大島ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用
4. 既得水利権者に対して節水への協力要請

3.宇連ダム、大島ダムにおける最低水位以下の貯留水の活用
3月17日から実施



2.利水者間の水融通【三上橋地点からの取水】
2月20日から実施
(水源取水地点:三上橋仮設ポンプ)



1.異常渇水時には下流利水に影響のない範囲として、取水制限流量を2.0m³/sに緩和
3月30日から実施
(水源取水地点:牟呂松原頭首工)



第1回豊川緊急渇水調整協議会（取水制限流量の緩和）

- 豊川自流の有効活用として、牟呂松原頭首工の通常時の取水制限流量は5.0m³/sであるが、下流利水に影響のない範囲として、取水制限流量を2.0m³/sに緩和した。また、牟呂松原頭首工下流地点が貯留制限流量となっている、大島ダム及び調整池も緩和された。
- 取水制限流量を緩和したことにより、牟呂松原頭首工からの取水量増加に加え、大島ダム及び調整池への早期かつ長期間の貯留が可能となった。



- 例年になく少雨状況により豊川においては、令和8年3月27日から節水強化として第7回節水対策（水道用水30%、農業用水50%、工業用水50%）を実施
- 天竜川においても令和7年12月19日から第2次取水制限（水道用水10%、農業用水20%、工業用水20%）を実施
- 豊川流域における節水対策が限界に近づいたことから中部地方整備局の仲介により愛知県と静岡県による三者会談を実施し、両県の現状について理解を深め、渇水被害の軽減に向けて、連携・調整していくことを確認
- 関係機関で連携・調整し、天竜川下流の利水者に影響のない範囲で、佐久間ダムに渇水対策のための水源を確保
- 豊川緊急渇水調整協議会から天竜川水利調整協議会へ協力要請を行い、天竜川水利調整協議会から承諾を得て天竜川（静岡県）から豊川（愛知県）への佐久間導水実施を決定（3月27日実施）

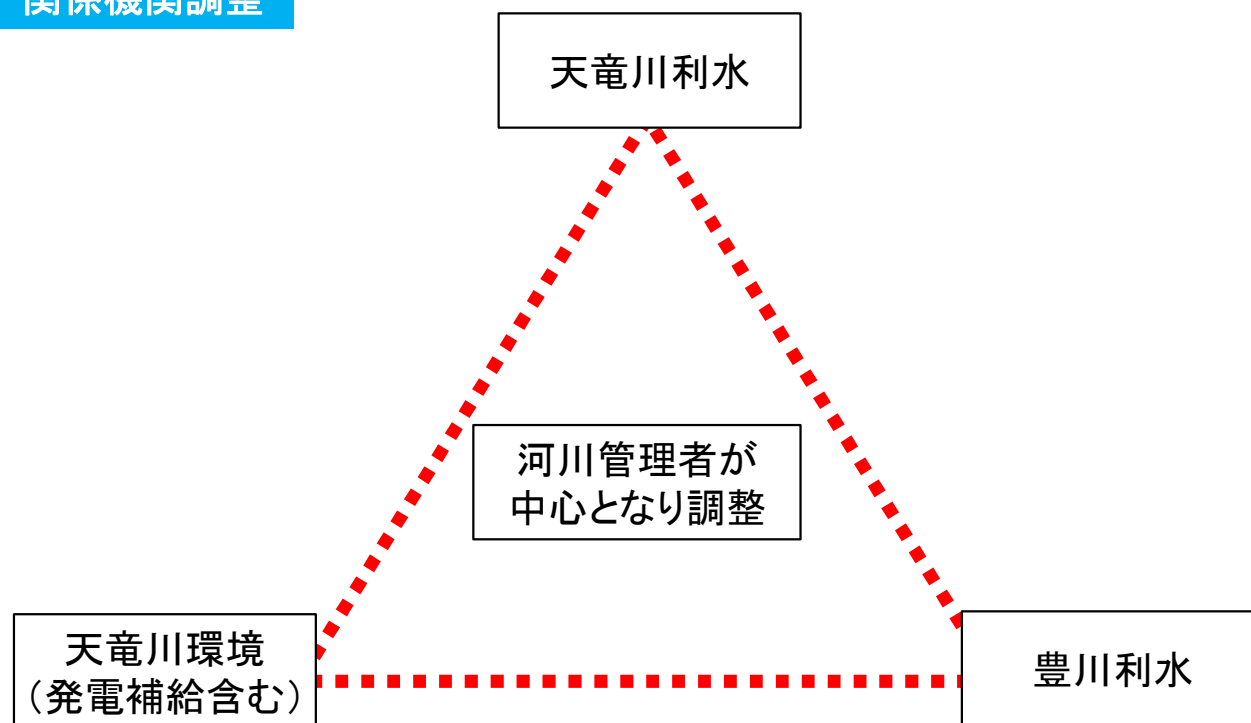
三者会談概要

- 日 時：令和8年3月27日（金）
14:00～14:30
- 会 場：静岡県庁
- 出席者：中部地方整備局
森本 輝 整備局長
静岡県
平木 省 副知事
愛知県
江口 幸雄 副知事

三者会談



関係機関調整



佐久間ダムに確保した水源は、天竜川の利水者や天竜川の環境（魚類の生息など）、豊川の利水者に利用できるように、関係者で連携・調整

第2回豊川緊急渇水調整協議会 緊急渇水対策メニュー(令和8年3月27日)

豊川緊急渇水調整協議会での決定事項

1. 佐久間緊急導水
天竜川水系 佐久間ダム【電源開発(株)】から豊川水系へ期間外緊急導水の決定
2. 幸田蒲郡線の緊急使用
矢作川から豊川への緊急水融通
3. 寒狭川堰の活用
豊川の機能維持のための貯留水の活用
4. 既得利水者への節水の呼びかけ

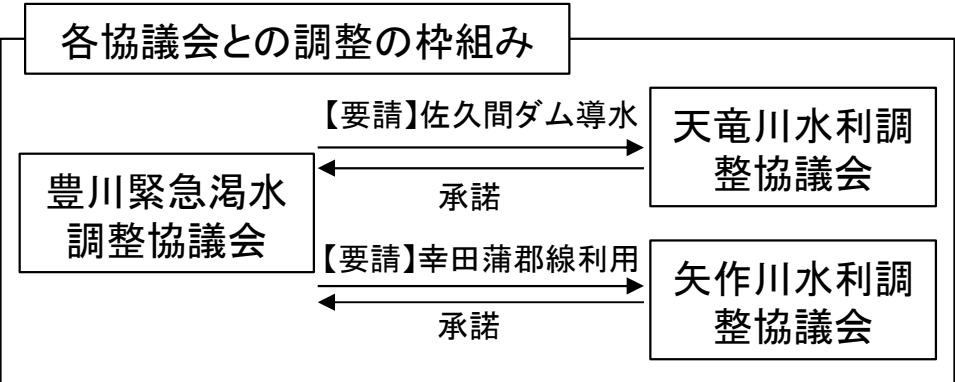
- 佐久間導水の期間外の運用は昭和60年2月以来2度目。
- 平成6年、7年、8年の夏には、天竜川の渇水状況や宇連ダムの貯量条件など、条件からは外れているものの佐久間導水の緊急導水を実施。
- 幸田蒲郡線の緊急使用は渇水対策では初めて

寒狭川堰の貯留水の活用

【佐久間導水】
分水期間：5月6日～9月20日
最大分水量：毎秒1.4 m³
分水総量：年間5,000万 m³
鹿島地点流量：85.404 m³/s

佐久間緊急導水
:4月25日から実施

幸田蒲郡線の緊急使用:3月28日から実施



- ◆ 4月25日～4月27日の期間、佐久間緊急導水(約29万m³)を実施。
- ◆ 4月26日からの降雨、及び佐久間緊急導水により豊川用水施設の貯水量が温存できたことをうけ、4月28日に豊川用水の節水対策の解除、佐久間緊急導水や、幸田蒲郡線の緊急使用など導水緊急渇水対策を終了

第2回豊川緊急渇水調整協議会（寒狭川堰の貯留水の活用）

- 寒狭川堰により確保された不特定容量（64千m³）を、寒狭川導水路を用いて、寒狭川堰下流及び大野頭首工下流の流水の正常な機能の維持と増進を図ることとしている。
- 豊川緊急渇水調整協議会において、寒狭川堰の貯留制限の緩和と合わせて、不特定容量を寒狭川堰直下へ約0.1～0.2m³/sの補給を行うことにより、牟呂松原頭首工からの取水の一部を補給するとともに、寒狭川堰から牟呂松原頭首工間の流況改善を行うものとした。
- 結果としてこの不特定容量を使用することはなかったが、関係機関との手続等の確認を行い、速やかに補給ができるよう調整を行った。

■ 寒狭川堰及び寒狭川導水路



豊川流況総合改善事業実施区域

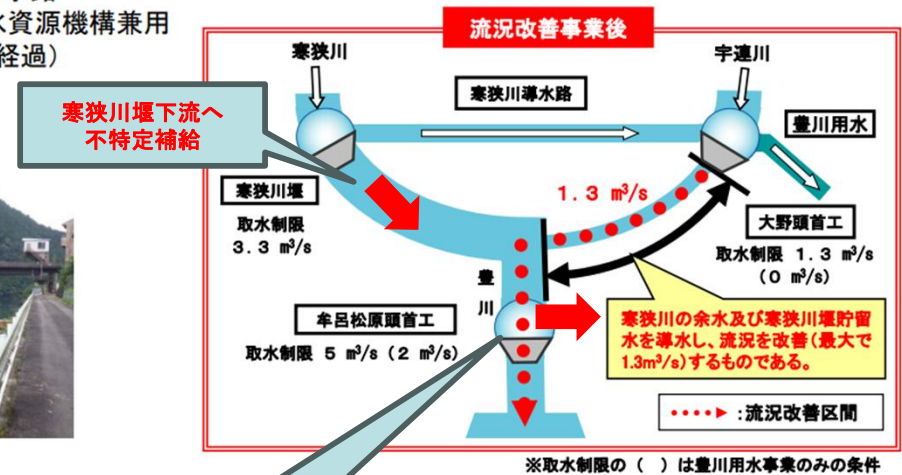
施設名 : 寒狭川堰、寒狭川導水路
 管理者 : 国土交通省、(独)水資源機構兼用
 管理開始 : 平成15年4月(19年経過)
 水系名 : 豊川水系
 所在地 : 愛知県新城市



寒狭川堰



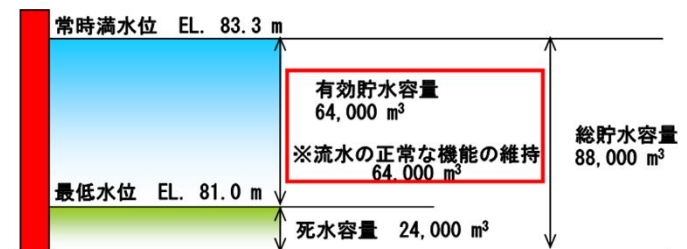
寒狭川導水路



※取水制限の（ ）は豊川用水事業のみの条件

牟呂松原頭首工からの取水の一部へ補給

寒狭川堰下流へ不特定補給



寒狭川堰貯水池容量配分図

豊橋市における節水対策の取り組み

豊橋市上下水道局

令和8年6月4日

本市の節水対策に係る体制

本市では、節水対策を迅速かつ的確に行うことを目的に、「**豊橋市節水対策マニュアル**」を定め、豊川用水節水対策協議会で決定された**節水率に応じた対策**を実施していくこととしている。

【節水率5%】 節水率5%では、上下水道局が中心となって、配水圧力コントロールの調整と市民へ節水の取組の周知を行う。

	取り組み
節水率5% 令和7年8月29日 ～12月24日 (118日間)	<ul style="list-style-type: none">・ 上下水道局庁舎への懸垂幕設置・ 上下水道局庁舎及び小鷹野浄水場への節水協力の立看板を設置・ 配水圧力コントロールの調整・ 豊橋市及び上下水道局ホームページへの節水記事掲載・ 地元ケーブルテレビ（ティーズ）及びラジオ（FMとよはし）を通じて市民広報（外国語対応含む）



本市の節水対策に係る体制

【節水率10%】 節水率10%を超えると、市役所内部に「豊橋市節水対策会議」を設置することとしている。また、「豊橋市上下水道局渇水対策本部」を併せて設置することとしている。

会議名	豊橋市節水対策会議	豊橋市上下水道局渇水対策本部
設置趣旨	情報収集、関係機関等との連絡調整及び啓発活動等の協議等を行い、全庁的な節水対策を講じる。	渇水対策の基本的事項を協議し、上下水道局所管に係る節水対策を講じる。
会議構成	市長、両副市長、全部局長	上下水道局長、次長、上下水道局内各課長
事務局	総務部行政課	上下水道局経営課

本市の節水対策に係る体制

『主管部局の主な役割』

総務部行政課	豊橋市節水対策会議の設置、報道発表、節水対策全般等
上下水道局経営課、浄水課	豊川用水節水対策協議会との連絡調整及び情報収集、取材対応等
企画部政策企画課	豊川緊急渇水調整協議会との連絡調整及び実施方法に関すること

* 上下水道局経営課に豊川用水節水対策協議会からの情報が入り次第、総務部行政課へ連絡
その情報を基に豊橋市節水対策会議にて節水対策全般の情報共有・意思決定等を行う。

『関係部局の主な役割』

防災危機管理課	全庁的な視点での危機管理に対する情報収集、支援及び協力に関すること
産業部産業政策課	豊橋市節水対策会議との連絡調整及び情報収集に関すること（工業用水）
産業部農業企画課	豊橋市節水対策会議との連絡調整及び情報収集に関すること（農業用水）
その他関係部局	各所管施設及び関係機関への節水協力依頼はそれぞれで実施

市役所一丸で節水対策の取組を実施！

節水率 10%での取組

取組み

節水率10%

令和7年12月25日
～令和8年1月14日
(21日間)

【5%節水対策に加え】

- ・市庁舎への懸垂幕、横断幕の設置
- ・市施設への立看板の設置、市庁舎電子情報案内板での表示
- ・公用車への節水協力ステッカーを貼付
- ・公用車の洗車禁止（緊急車両を除く）
- ・市庁舎及び上下水道局庁舎での庁内放送
- ・市内防災無線での放送
- ・豊橋ほっとメールでの啓発発信
- ・自己水の汲み上げ増量の開始
- ・通勤時間帯の豊橋駅前での啓発活動（ティッシュ配り）



➡ 豊橋市役所東館ホールに設置した横断幕

市庁舎電子情報案内板での節水協力➡



節水率 15%での取組

取り組み

節水率15%

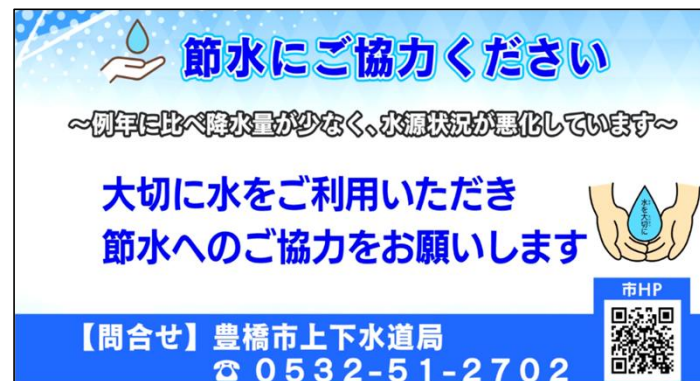
令和8年1月15日
～1月27日
(13日間)

【10%節水対策に加え】

- ・ 広報車市内巡回による節水啓発放送の実施（4台）
- ・ 市内事業者へ節水啓発ポスター掲出依頼
- ・ CATVでの静止画による断続的に節水啓発



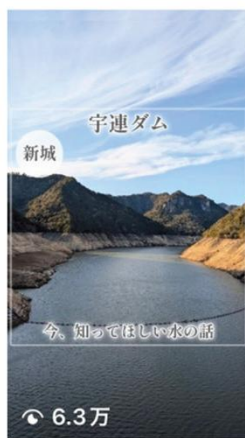
👉 **広報車**による市内節水広報啓発
平日毎日行った。
初日は**NHKの取材班**も広報車を追いかけて取材。



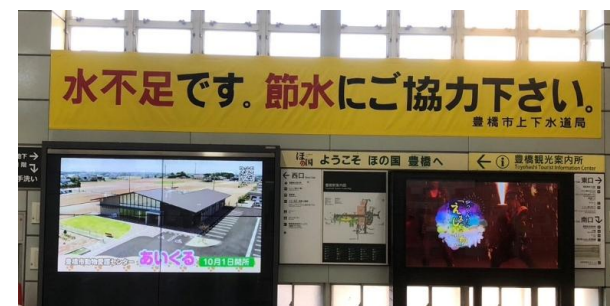
👉 地元**CATV**で放送した**節水啓発静止動画**
こちらも毎日放送

節水率 17%での取組

	取り組み
<p>節水率17% 令和8年1月28日 ～2月9日 (13日間) 節水率20%相当 として対策を実施</p>	<p>【15%節水対策に加え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東三河5市長名で合同メッセージ発信 ・豊橋駅東西自由連絡通路（JR豊橋駅改札前）に節水啓発横断幕設置 ・広報車市内巡回による節水啓発の増強（4台⇒5台） ・道の駅とよはしにて節水啓発活動の実施 ・料金検針員による節水啓発チラシの各戸配布 ・市内スーパー等での節水啓発放送依頼 ・広報とよはし「X」にて節水啓発投稿 ・インフルエンサーを活用した節水広報 ・上下水道局Instagramでの平日毎日の節水啓発投稿の実施



👉東三河を中心に活躍するインフルエンサーへ節水広報を依頼



👉多くの市民が通行する豊橋駅東西自由連絡通路に設置した節水啓発横断幕

節水率 20%での取組

取り組み

節水率20%

令和8年2月10日
～3月16日
(35日間)

【節水率17%時の対策に加え】

- ・市内小中学校保護者向け節水啓発チラシの配布
- ・市内保育園・幼稚園保護者向け節水啓発チラシの配布
- ・市内スーパー店頭等での節水啓発活動の実施
- ・多文化共生Facebookでの節水啓発多言語情報発信



職員が啓発看板を持ち、直接市民へ節水協力を訴えた

当日の様子は上下水道局Instagramへ投稿

ダムがピンチ！宇連ダム貯水率 4.2%
令和8年2月12日現在

節水 してください

【節水の取組による効果】

洗濯 50L 節水 ※おためし洗濯して（乾燥半減）	トイレ 2～10L 節水 洗浄レバーの次・水の連続は押し切りや、お風呂の残り水の再利用をしてみる	シャワー 50L 節水 10分以内はつばねし、お湯のお湯を5分以内にする
洗濯 100L 節水 お風呂の残り湯を洗濯に再利用して、お湯のお湯を5分以内にする	台所 20L 節水 すすぎ時間を2分以内にする	お風呂 60L 節水 お風呂を半分にする

市民の皆様の一一人一人の節水が唯一の水源です！

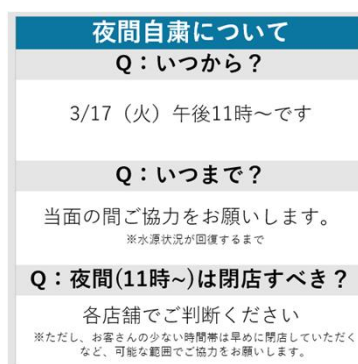
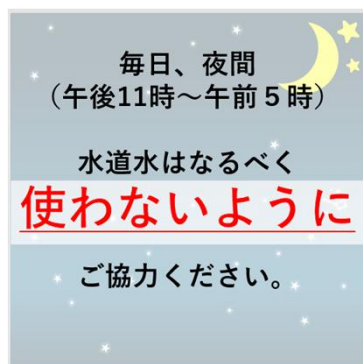
豊橋市上下水道局浄水対策本部
問い合わせ 豊橋市上下水道局
51-2703(相談課) 61-8761(浄水課)
51-2742(営業課) 61-2723(下水道課)

市内小中学校、保育園、幼稚園保護者向けに配布した節水啓発チラシ

それぞれの節水の取組による効果をピクトグラムを活用し提示した

節水率25%・30%での取組

	取組み
節水率25% 令和8年3月17日 ~3月26日 (10日間)	【20%節水対策に加え】 ・東三河5市長名で合同メッセージ発信 「水道、夜間ノータッチ運動の開始」 午後11時から午前5時までの水道水の使用自粛の要請 ⇒民放各社でのテレビ報道、新聞記事掲載による周知に加え、市ホームページ、SNS、CATVなど様々な広報媒体により市民周知を実施 ⇒また、SNS広告を活用して使用自粛の啓発を実施
節水率30% 令和8年3月27日 ~4月9日(14日間)	引続き、「水道、夜間ノータッチ運動の実施」 午後11時から午前5時までの水道水の使用自粛の要請



👉 SNS広告を活用し、あらゆる世代へ「水道、夜間ノータッチ運動」を啓発

これまで行っていた防災無線、豊橋ほっとメール、Instagram等でも啓発は当然行う

節水収束期（節水率20%～15%）の取組

	取り組み
節水率20% 令和8年4月10日 ～4月14日 (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>水道、夜間ノータッチ運動の終了</u> ・ 上下水道局ホームページ上の宇連ダム枯渇写真の掲示取りやめ ・ 広報車市内巡回による節水啓発の縮小（5台⇒4台） ・ 市内防災無線での節水啓発の縮小（1日2回⇒1日1回）
節水率15% 令和8年4月15日 ～4月28日 (14日間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内スーパー等での節水啓発放送の終了 ⇒ 豊橋駅東西自由連絡通路へ設置した横断幕を始め、立看板や懸垂幕等は節水解除まで設置することにした



👉 4月に入り、集中した降雨があったことから節水率を緩和したことをInstagram等でも市民周知

宇連ダムの貯水率が60%まで回復したことを市民とともに祝福👉



令和7年7月からの豊川渇水における 設楽ダムの効果（推定）

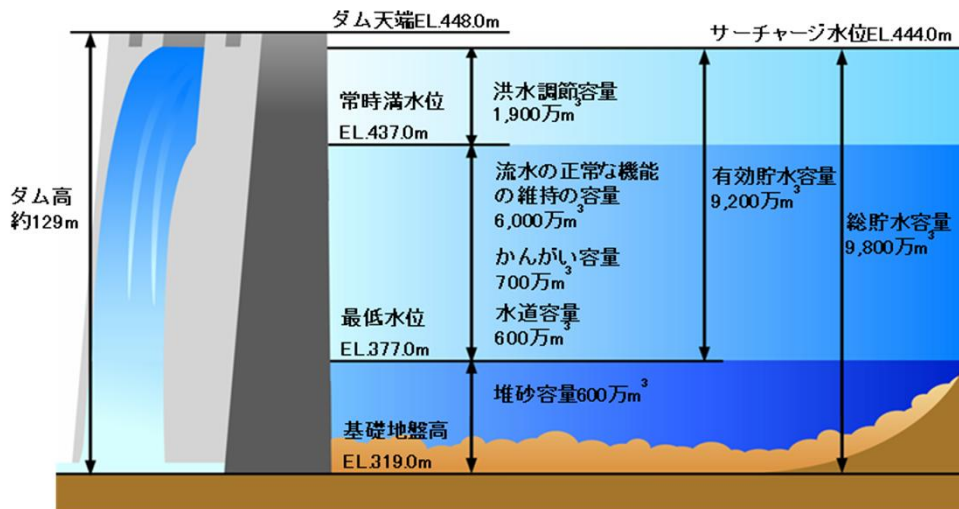
令和8年 6月 4日

中部地方整備局 河川部

豊川流域図



容量配分図



○場 所 きたしたらくん したらちよう とよがわ
愛知県北設楽郡設楽町（豊川水系豊川）

○目 的 洪水調節
流水の正常な機能の維持
かんがい用水の補給
水道用水の供給

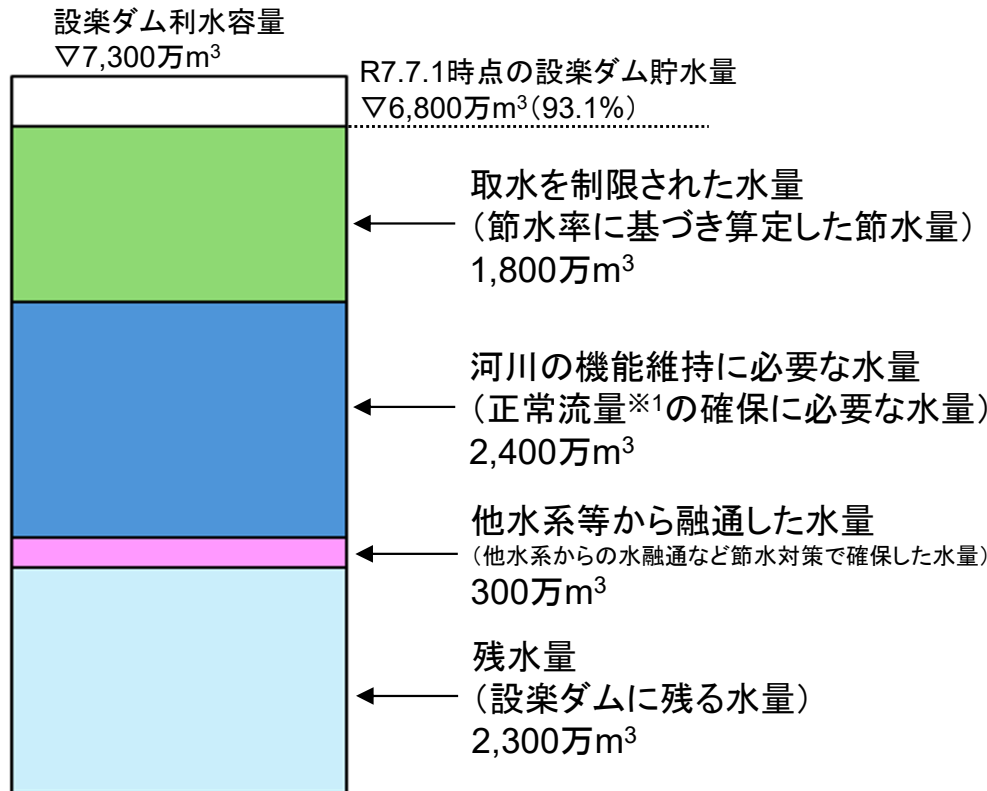
○諸 元 重力式コンクリートダム
 ・集水面積 62 (km²)
 ・堤高 129 (m)
 ・総貯水容量 9,800万 (m³)

○工 期 昭和53年度～令和16年度

○現 状 本体（基礎掘削） 工事中
付替道路 工事中

○総事業費 約3,200億円

- 令和7年7月から始まった豊川流域の渇水について、節水対策期間は243日におよび工場の操業時間の短縮や生産調整、田植え時期の延期、公共施設の休止などの影響がありました。
- 設楽ダムがあった場合の効果を検討したところ、「取水を制限された水量」「河川の機能維持に必要な水量」および「他水系等から融通した水量」を設楽ダムの水で補うことが可能であり、今回の豊川渇水に対し、設楽ダムが完成していれば、ダムからの補給により**渇水を回避できた**と推定されます。
※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります



※1: 河川環境の維持等に必要な水量とかんがい等取水量を満たす流量

効果量の内訳

効果の算定に用いた条件

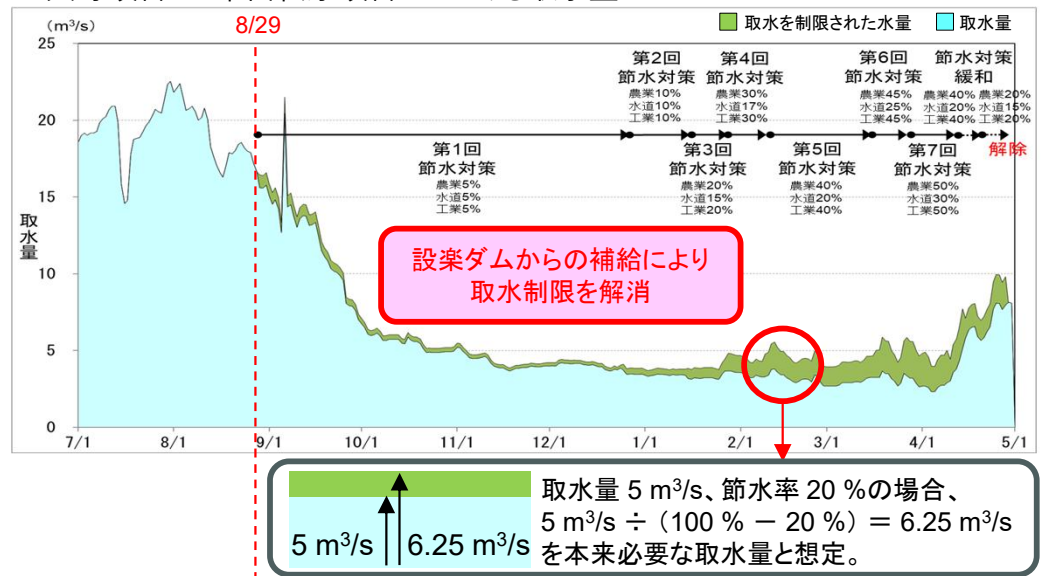
- ・実際の取水量(速報値)と節水率から、設楽ダムからの補給量を推定
- ・算定期間は正常流量を下回った7月上旬から節水解除の4月末まで
- ・7月1日の設楽ダム貯水量は、同日の宇連ダム貯水率(93.1%)から設定
〔7月1日時点の貯水率(宇連ダム 93.1%、大島ダム 96.7%)を踏まえ、貯水率が低かった宇連ダムの貯水率(93.1%)を用いて、設楽ダム貯水量を想定〕
- ・算定期間中の設楽ダムへの流入水は見込んでいない

ダムが完成していた場合の効果

※速報値 (R8.4.28時点)

大野頭首工・牟呂松原頭首工における取水量

※取水量は牟呂松原頭首工と大野頭首工の合算値



牟呂松原頭首工下流地点の流量

